

T S 出来形検査ツール

操作手順書

図面と設計データのチェック、計測データの
確認を行う操作をご紹介します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である
場合があります。ご了承ください。



図面と設計データのチェック

1. TS出来形検査ツールの起動	2
2. TS出来形データの読み込み	3
2-1 TS出来形データを読み込む	3
3. チェックに必要な資料の関連付け	4
3-1 基準点及び工事基準点のチェックに必要な資料を 関連付ける	4
3-2 平面線形のチェックに必要な資料を関連付ける	5
3-3 縦断線形のチェックに必要な資料を関連付ける	7
3-4 出来形横断面形状のチェックに必要な資料を関連付ける	8
4. 基準点及び工事基準点のチェック	9
4-1 基準点及び工事基準点をチェックする	9
5. 平面線形のチェック	10
5-1 平面線形をチェックする	10
6. 縦断線形のチェック	17
6-1 縦断線形をチェックする	17
7. 出来形横断面形状のチェック	20
7-1 出来形横断面形状をチェックする	20
8. 3D形状でのデータチェック	24
8-1 3D形状でデータの状態をチェックする	24
8-2 3Dの画像を出力する	25
9. チェックシートの印刷	26
9-1 ユーザー情報を設定する	26
9-2 チェックシートをプレビューする	27
9-3 チェックシートを印刷する	28
9-4 TS出来形検査ツールを終了する	29

1. 計測データの確認	32
1-1 出来形表で、各計測データを種別ごとに確認する	32
2. 3D形状でのデータチェック	36
2-1 3D形状でデータの状態をチェックする	36
2-2 3Dの画像を出力する	37

図面と設計データの チェック



TS出来形検査ツールを起動して、
図面と設計データのチェックを行い、
チェックシートを作成してみましょう。

- 1** TS出来形検査ツールの起動
- 2** TS出来形データの読み込み
- 3** チェックに必要な資料の関連付け
- 4** 基準点及び工事基準点のチェック
- 5** 平面線形のチェック
- 6** 縦断線形のチェック
- 7** 出来形横断面形状のチェック
- 8** 3D形状でのデータチェック
- 9** チェックシートの印刷

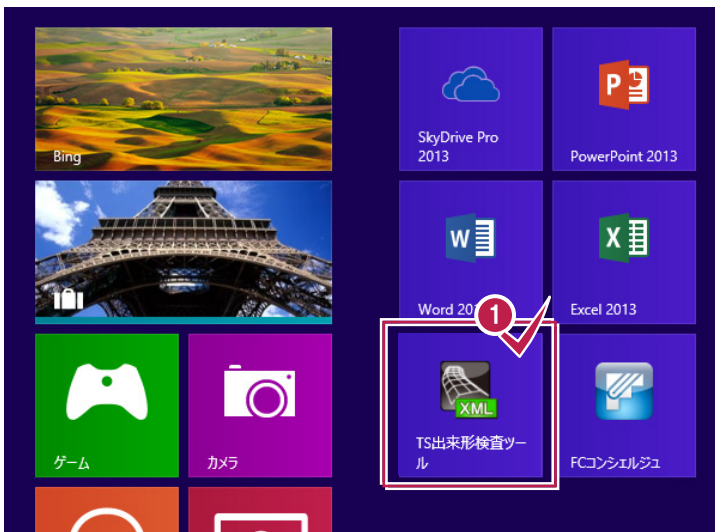
1 TS出来形検査ツールの起動

TS 出来形検査ツールを起動します。

1-1 [TS出来形検査ツール]を起動する

本書では、Windows8を使用して解説しています。

■ スタート画面から[TS出来形検査ツール]を起動する



- 1 スタート画面で[TS出来形検査ツール]をクリックします。

■ デスクトップ画面から[TS出来形検査ツール]を起動する



- 1 スタート画面で[デスクトップ]をクリックします。

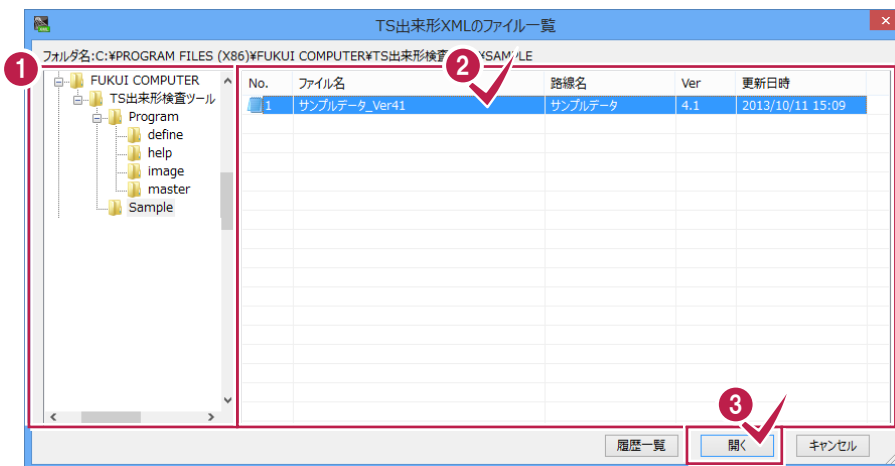
- 2 デスクトップ画面で[TS出来形検査ツール]をダブルクリックします。

2 TS出来形データの読み込み

検査する TS 出来形データファイル(*.xml)を選択して、読み込みます。

2-1 TS出来形データを読み込む

本書では、「C:\Program Files(x86)\FUKUI COMPUTER\TS出来形検査ツール\Sample」フォルダー内の「サンプルデータ_Ver41.xml」を読み込みます。



- 1 TS出来形データの保存先を指定します。
- 2 TS出来形データをクリックします。
- 3 「開く」をクリックします。



TS出来形データが読み込まれて、「基本設計データのチェックシート」画面が表示されます。



3 チェックに必要な資料の関連付け

図面や計算書などのチェックに必要な資料を関連付けます。

3-1 基準点及び工事基準点のチェックに必要な資料を関連付ける

1) 基準点及び工事基準点のチェックに必要な資料を関連付けます。

項目	対象	内容	チェック結果	参照
1) 基準点及び工事基準点	全点	- 監督職員の指示した基準点を使用しているか？ - 工事基準点の名称は正しいか？ - 座標は正しいか？	未確認	参照
2) 平面線形	全延長	- 起終点の座標は正しいか？ - 変化点（線形主要点）の座標は正しいか？ - 曲線要素の種別・数値は正しいか？ - 各測点の座標は正しいか？	未確認	参照
3) 縦断線形	全延長	- 線形起終点の測点、標高は正しいか？ - 縦断変化点の測点、標高は正しいか？ - 曲線要素は正しいか？	未確認	参照
4) 出来形横断面形状	全延長	- 作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か？ - 基準高、幅、法長は正しいか？ - 出来形計測対象点の記号が正しく付与できているか？	未確認	参照

No	ファイルの場所

名前	更新日時
基準点.pdf	2013/09/...
縦・横断面図.pdf	2013/09/...
平面図.pdf	2013/09/...

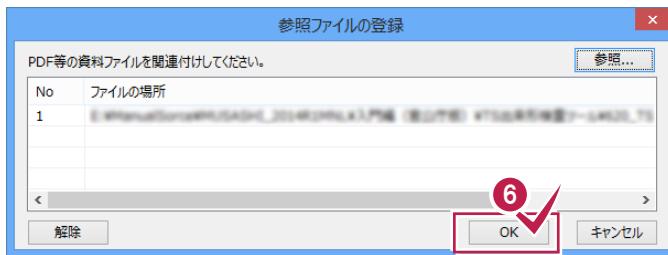
1 [1) 基準点及び工事基準点] の[参照]をクリックします。

2 [参照]をクリックします。

3 資料の保存先を指定します。

4 資料をクリックします。

5 [開く]をクリックします。



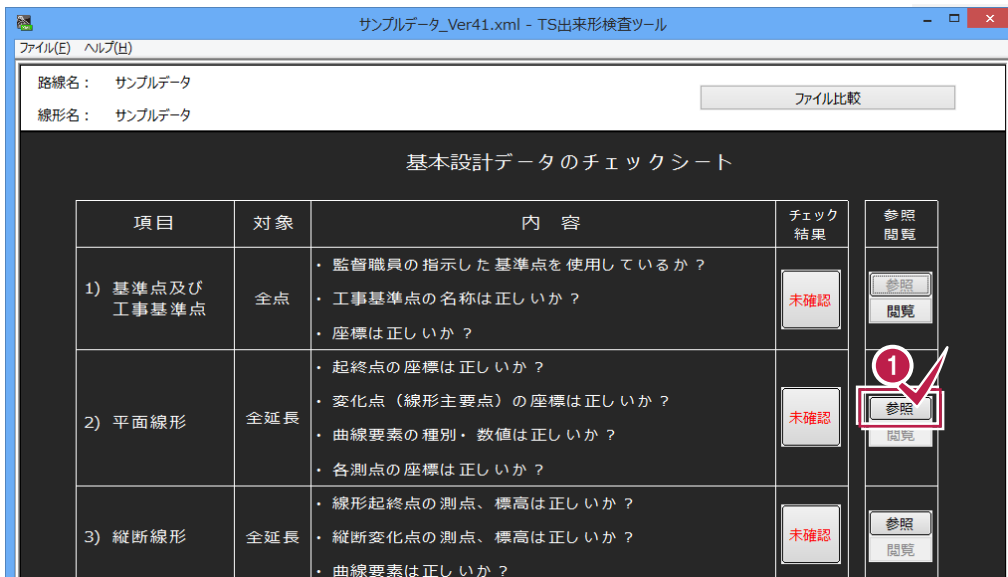
6 [OK]をクリックします。



資料が関連付けられます。
関連付けられた資料は[閲覧]で
開くことができます。
[参照]で関連付ける資料を追加
することもできます。

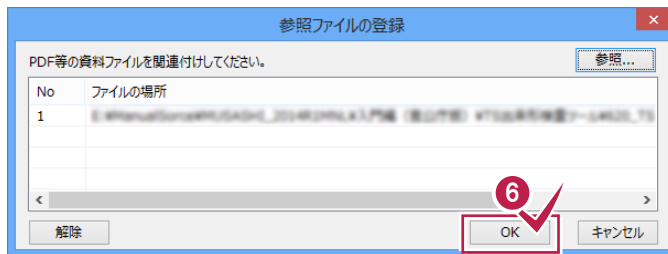
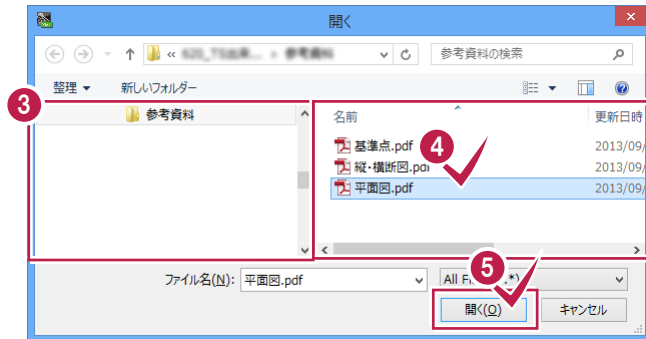
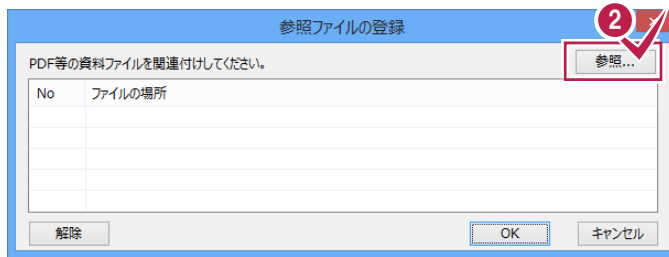
3-2 平面線形のチェックに必要な資料を関連付ける

2) 平面線形のチェックに必要な資料を関連付けます。



1 [2) 平面線形]の[参照]を
クリックします。

3. チェックに必要な資料の関連付け



2 [参照]をクリックします。

3 資料の保存先を指定します。

4 資料をクリックします。

5 [開く]をクリックします。

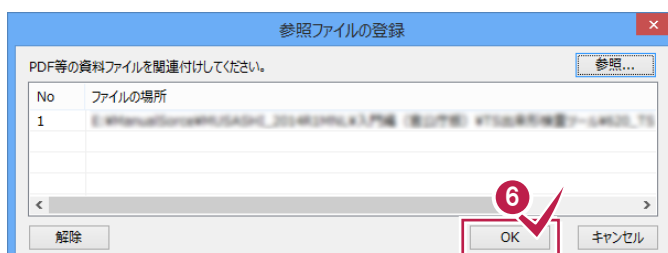
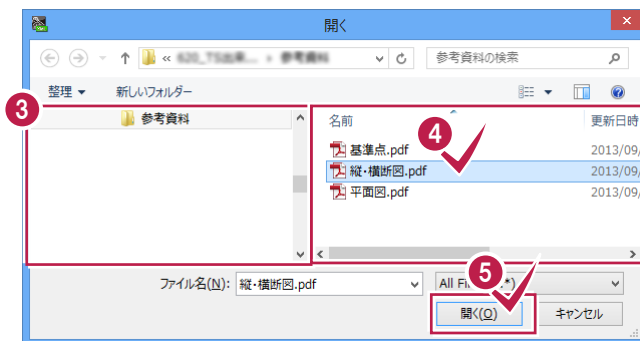
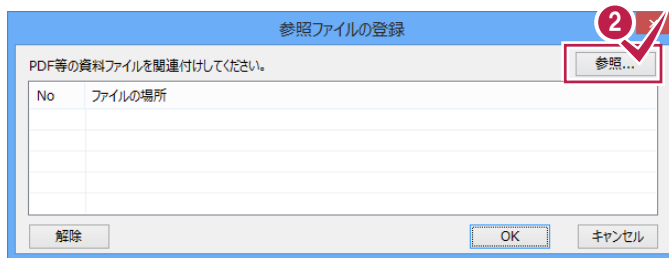
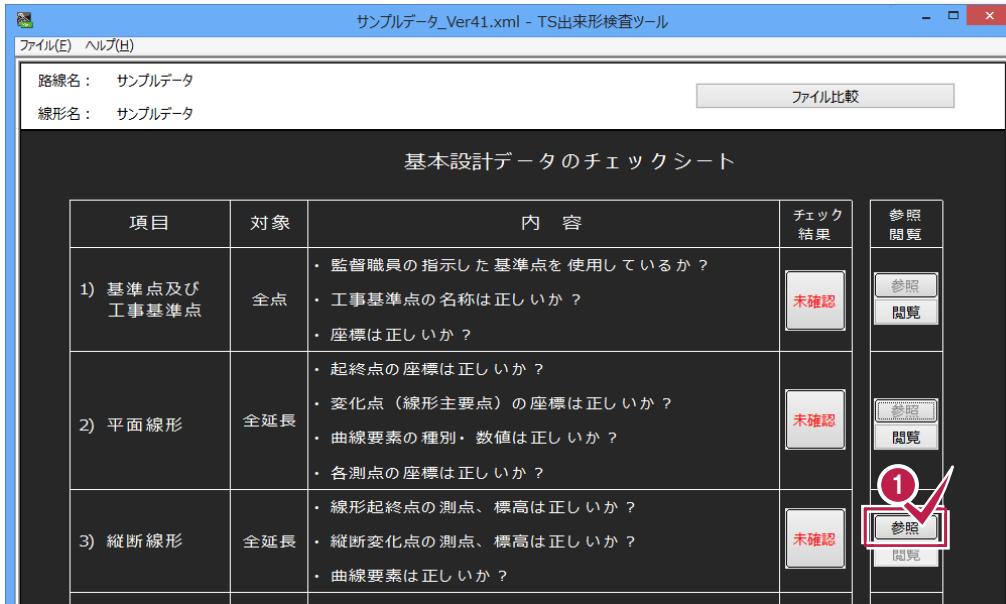
6 [OK]をクリックします。



資料が関連付けられます。
関連付けられた資料は[閲覧]で
開くことができます。
[参照]で関連付ける資料を追加
することもできます。

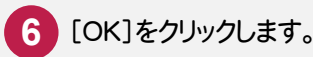
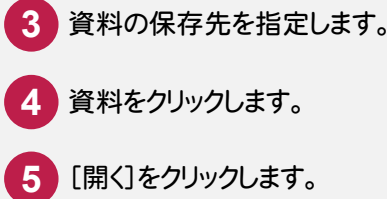
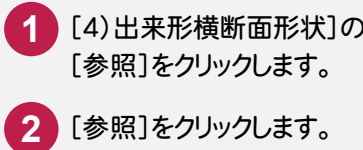
縦断線形のチェックに必要な資料を関連付ける

3)縦断線形のチェックに必要な資料を関連付けます。



- 1 [3)縦断線形]の[参照]をクリックします。
- 2 [参照]をクリックします。
- 3 資料の保存先を指定します。
- 4 資料をクリックします。
- 5 [開く]をクリックします。
- 6 [OK]をクリックします。

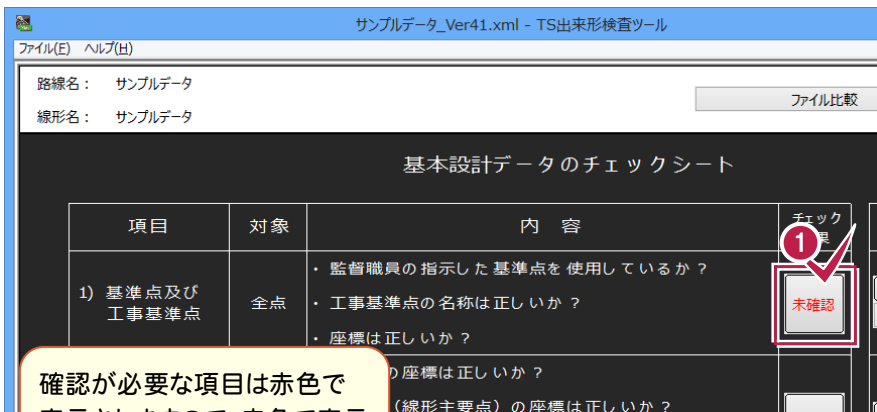
項目	対象	内 容	チェック結果	参照 閲覧
1) 基準点及び 工事基準点	全点	- 監督職員の指示した基準点を使用しているか？ - 工事基準点の名称は正しいか？ - 座標は正しいか？	未確認	参照 閲覧
2) 平面線形	全延長	- 起終点の座標は正しいか？ - 変化点（線形主要点）の座標は正しいか？ - 曲線要素の種別・数値は正しいか？ - 各測点の座標は正しいか？	未確認	参照 閲覧
3) 縦断線形	全延長	- 線形起終点の測点、標高は正しいか？ - 縦断変化点の測点、標高は正しいか？ - 曲線要素は正しいか？	未確認	参照 閲覧
4) 出来形 横断面形状	全延長	- 作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か？ - 基準高、幅、法長は正しいか？ - 出来形計測対象点の記号が正しく付与できているか？	未確認	参照 閲覧



4 基準点及び工事基準点のチェック

基準点及び工事基準点をチェックします。

4-1 基準点及び工事基準点をチェックする



確認が必要な項目は赤色で表示されますので、赤色で表示されているボタンをクリックして、確認を行います。

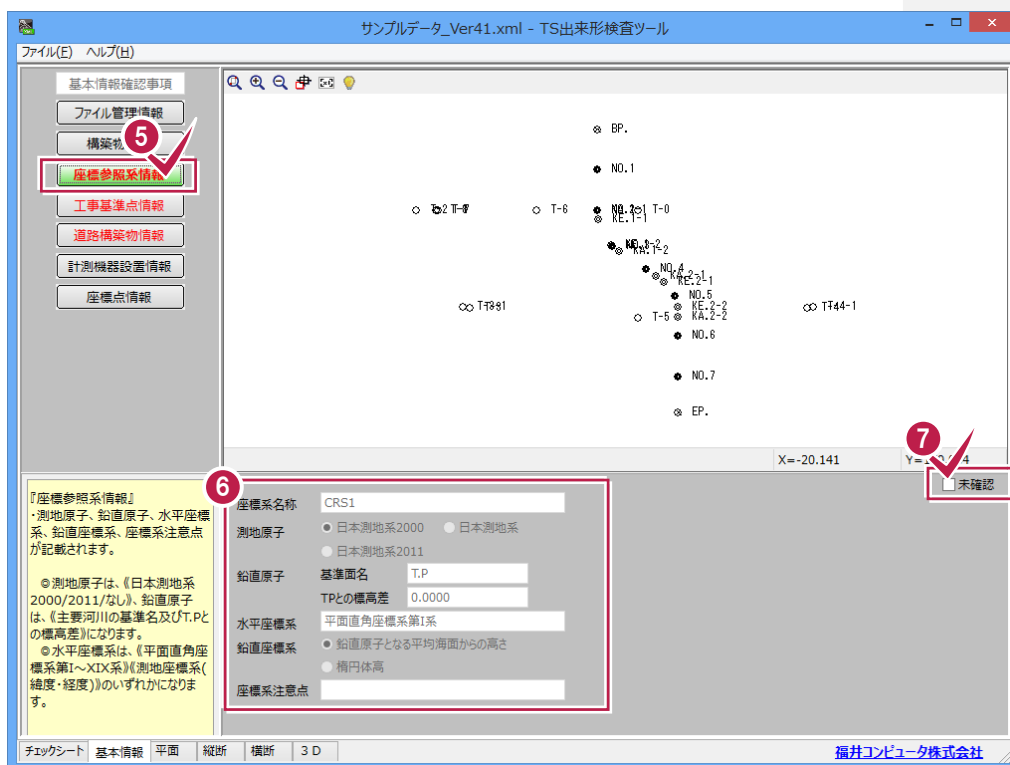
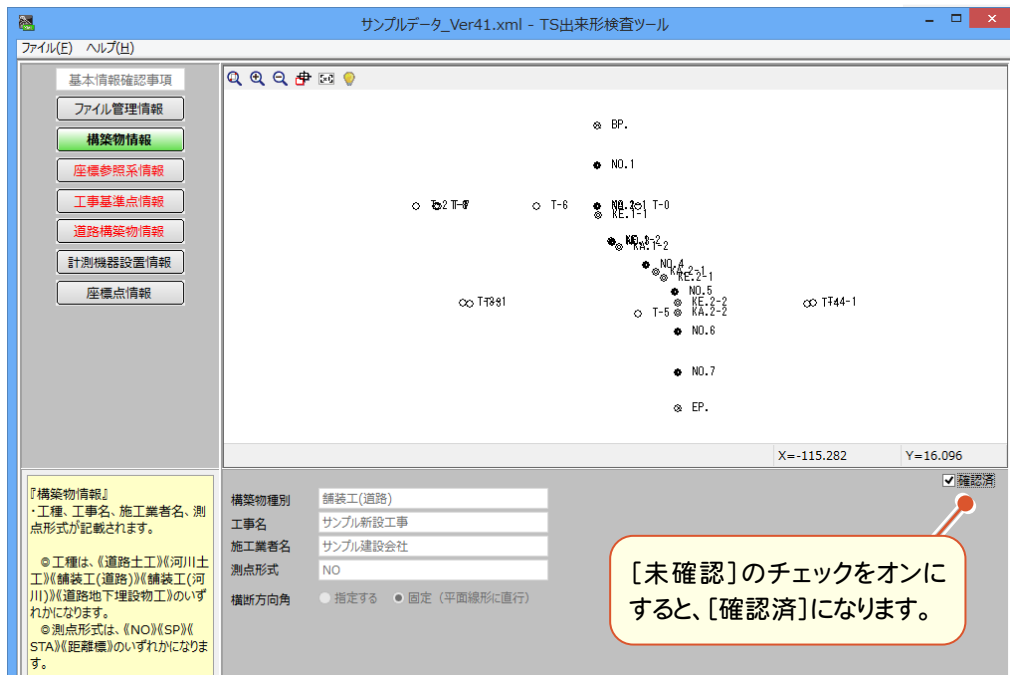
- 1 [1) 基準点及び工事基準点] の[未確認]をクリックします。



チェック項目の内容が表示されますので、参照しながらチェックを行えます。

- 2 [構築物情報]をクリックします。
- 3 構築物の情報を確認します。
- 4 確認を終了したら[未確認]のチェックをクリックします。

4. 基準点及び工事基準点のチェック



- 5 [座標参照系情報]をクリックします。
- 6 座標参照系情報を確認します。
- 7 確認を終了したら[未確認]のチェックをクリックします。

4. 基準点及び工事基準点のチェック

サンプルデータ_Ver41.xml - TS出来形検査ツール

ファイル(E) ヘルプ(H)

基本情報確認事項

ファイル管理情報

構築物情報

座標参照系情報

工事基準点情報

道路構築物情報

計測機器設置情報

座標点情報

座標参照系情報
・測地原点、鉛直原点、水平座標系、鉛直座標系、座標系注意点が記載されます。
◎測地原点は、『日本測地系2000/2011/なし』、鉛直原点は、『(主要河川)の基準名及びT.Pとの標高差』になります。
◎水平座標系は、『(平面直角座標系第I～XIX系)』(測地座標系(緯度・経度))のいずれかになります。

測地系名 CRS1

測地原点
● 日本測地系2000 ● 日本測地系2011

鉛直原点
基準面名 T.P
TPとの標高差 0.0000

水平座標系
平面直角座標系第I系

鉛直座標系
● 鉛直原点となる平均海面からの高さ
● 橋脚体高

座標系注意点

座標点情報

X=-116.268 Y=168.913

[未確認]のチェックをオンにすると、[確認済]になります。

サンプルデータ_Ver41.xml - TS出来形検査ツール

ファイル(E) ヘルプ(H)

基本情報確認事項

ファイル管理情報

構築物情報

座標参照系情報

工事基準点情報

道路構築物情報

計測機器設置情報

座標点情報

工事基準点情報
・基準点測量により設置された基準点、基準点測量(水準測量)により設置された水準点に関する情報が記載されます。
◎基準点/水準点は、名称、XYZ座標、基準点/水準点の種類、注記が記載されます。

基準点

No	測点名	X座標	Y座標	Z座標	基準点の種類	注記	確認
1	T-0	0.000000	0.000000	0.000000	4級基準点		☒
2	T-1	0.000000	-100.000000	0.002000	4級基準点		☐
3	T-2	0.000000	-110.000000	-0.001000	4級基準点		☐
4	T-3	-48.283000	-83.099300	-0.046000	4級基準点		☐
5	T-3-1	-48.075900	-86.736400	-0.058000	4級基準点		☐
6	T-4	-48.343800	83.692800	-0.046000	4級基準点		☐
7	T-4-1	-48.217000	86.980600	-0.055000	4級基準点		☐
8	T-5	-53.407000	0.008000	0.025000	4級基準点		☐
9	T-6	0.000000	-50.000000	-0.001000	4級基準点		☐

X=-92.113 Y=175.814

未確認

8 [工事基準点情報]をクリックします。

9 No.1の基準点の情報を確認します。

10 確認を終了したら[確認]のチェックをクリックして、オンにします。

工事基準点情報
・基準点測量により設置された基準点、基準点測量(水準測量)により設置された水準点に関する情報が記載されます。
◎基準点/水準点は、名称、XYZ座標、基準点/水準点の種類、注記が記載されます。

基準点

No	測点名	X座標	Y座標	Z座標	基準点の種類	注記	確認
1	T-0	0.000000	0.000000	0.000000	4級基準点		☒
2	T-1	0.000000	-100.000000	0.002000	4級基準点		☐
3	T-2	0.000000	-110.000000	-0.001000	4級基準点		☐
4	T-3	-48.283000	-83.099300	-0.046000	4級基準点		☐
5	T-3-1	-48.075900	-86.736400	-0.058000	4級基準点		☐
6	T-4	-48.343800	83.692800	-0.046000	4級基準点		☐
7	T-4-1	-48.217000	86.980600	-0.055000	4級基準点		☐
8	T-5	-53.407000	0.008000	0.025000	4級基準点		☐
9	T-6	0.000000	-50.000000	-0.001000	4級基準点		☐

4. 基準点及び工事基準点のチェック

サンプルデータ_Ver41.xml - TS出来形検査ツール

ファイル(E) ヘルプ(H)

基本情報確認事項

ファイル管理情報

構築物情報

座標参照系情報

工事基準点情報

道路構築物情報

計測機器設置情報

座標点情報

『工事基準点情報』
・基準点測量により設置された基準点、基準点測量(水準測量)により設置された水準点に関する情報が記載されます。
◎基準点/水準点、名称、XYZ座標、基準点/水準点の種類、注記が記載されます。

基準点

No	測点名	X座標	Y座標	Z座標	基準点の種類	注記	確認
4	T-3	-48.283000	-83.099300	-0.046000	4級基準点		☒
5	T-3-1	-48.075900	-86.736400	-0.058000	4級基準点		☒
6	T-4	-48.343800	83.692800	-0.046000	4級基準点		☒
7	T-4-1	-48.217000	86.980600	-0.055000	4級基準点		☒
8	T-5	-53.407000	0.008000	0.025000	4級基準点		☒
9	T-6	0.000000	-50.000000	-0.001000	4級基準点		☒
10	T-7	0.000000	-99.000000	0.000000	4級基準点		☒
11	T-8	0.000000	-99.950000	0.000000	4級基準点		☒
12							☐

X=-115.282 Y=21.518

☒ 確認済

福井コンピュータ株式会社

すべての基準点の[確認]のチェックをオンにすると、[確認済]になります。



11 同様に他の基準点の情報の確認を行い、[確認]のチェックをクリックしてオンにします。

サンプルデータ_Ver41.xml - TS出来形検査ツール

ファイル(E) ヘルプ(H)

基本情報確認事項

ファイル管理情報

構築物情報

座標参照系情報

工事基準点情報

道路構築物情報

計測機器設置情報

座標点情報

『道路構築物情報』
・道路中心線形に関する情報が記載されます。
◎路線名、道路規格(第1~4種、第1~5級)、設計速度(120・100・80・60・50・40・30・20km/h)、設計交通量が記載されます。

道路規格 第4種第4級

設計速度 60 (Km/h)

設計交通量 100 (台/1日)

X=22.746 Y=...

☐ 未確認

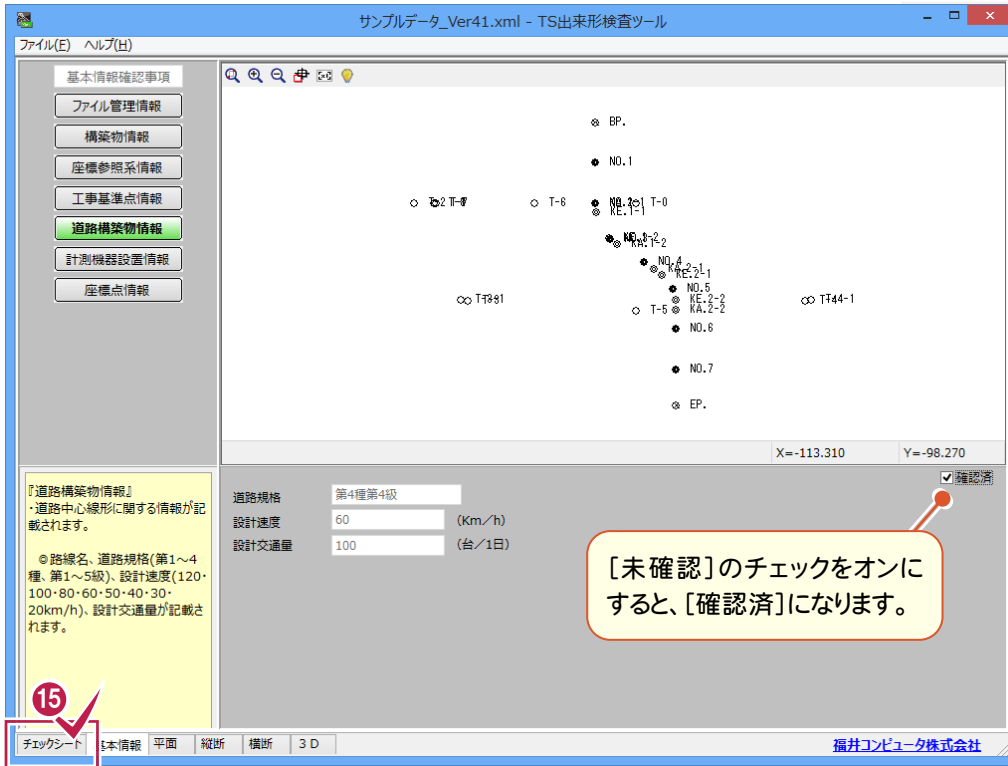
福井コンピュータ株式会社

12 [道路構築物情報]をクリックします。

13 道路構築物情報を確認します。

14 確認を終了したら[未確認]のチェックをクリックします。

4. 基準点及び工事基準点のチェック



15 [チェックシート]をクリックします。



5 平面線形のチェック

平面線形をチェックします。

5-1 平面線形をチェックする

サンプルデータ_Ver41.xml - TS出来形検査ツール

ファイル(E) ヘルプ(H)

路線名: サンプルデータ
線形名: サンプルデータ

基本設計データのチェックシート

項目	対象	内 容	チェック結果
1) 基準点及び工事基準点	全点	- 監督職員の指示した基準点を使用しているか？ - 工事基準点の名称は正しいか？ - 座標は正しいか？	確認済
2) 平面線形	全延長	- 起終点の座標は正しいか？ - 変化点（線形主要点）の座標は正しいか？ - 曲線要素の種別・数値は正しいか？ - 各測点の座標は正しいか？	未確認

1 [2) 平面線形]の[未確認]をクリックします。

サンプルデータ_Ver41.xml - TS出来形検査ツール

確認が必要な項目は赤色で表示されますので、赤色で表示されているボタンをクリックして、確認を行います。

測点情報 線形情報 中間点計算 プレーキ点 IP点

平面線形名 サンプルデータ 注記

平面線形情報

計算方法 ☐ IP法 ☒ 要素法 ☐ 未確認

測点形式 NO 総延長 157.7210 [m]

開始点 0 + 0.0000 [m] 初点追加距離 0.0000 [m]

終了点 7 + 17.7210 [m] 終点追加距離 157.7210 [m]

注記

測点間隔 ☐ 未確認

主測点間隔 20.0000 [m]

副測点間隔 20.0000 [m]

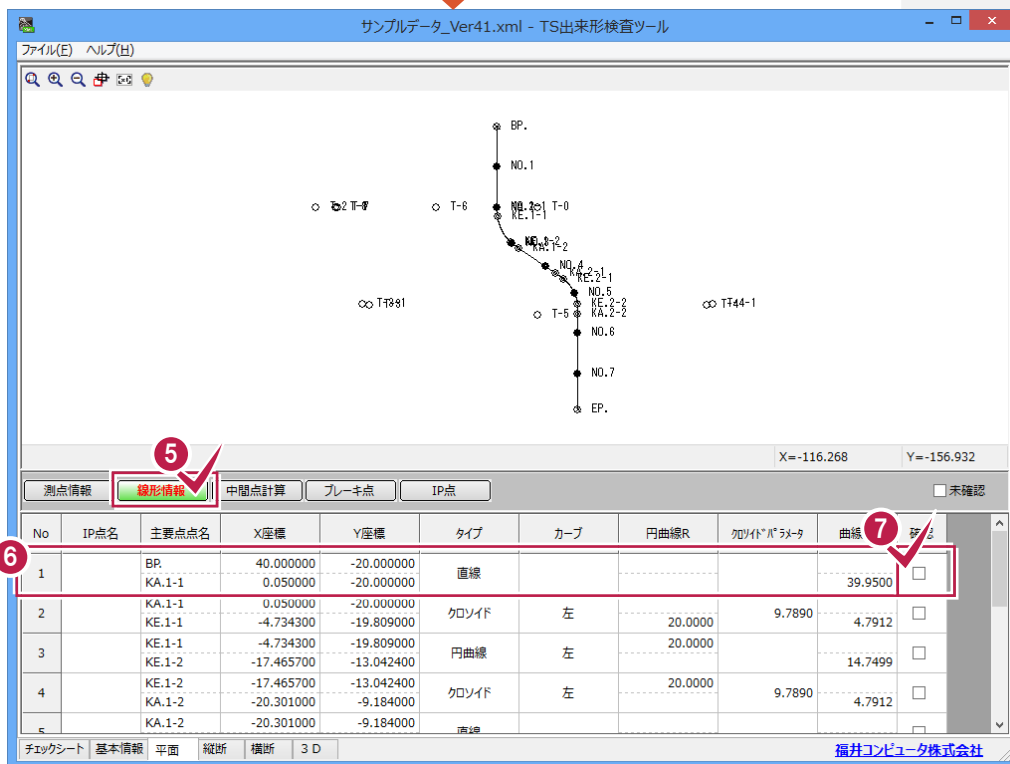
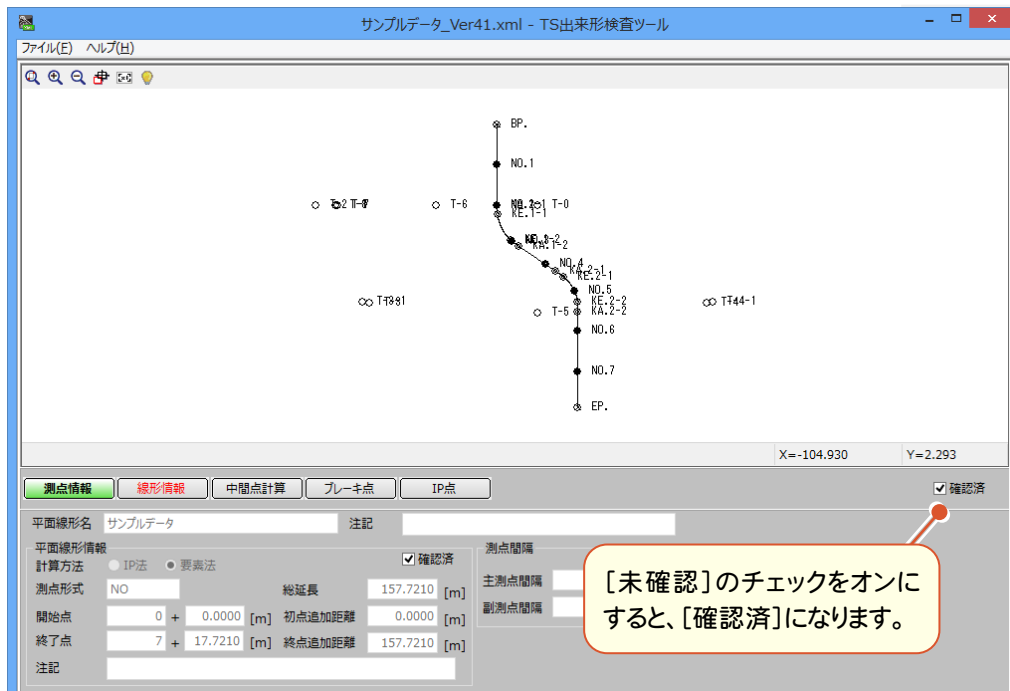
チェックシート 基本情報 平面 縦断 横断 3D

福井コンピュータ株式会社

2 [測点情報]をクリックします。

3 測点情報を確認します。

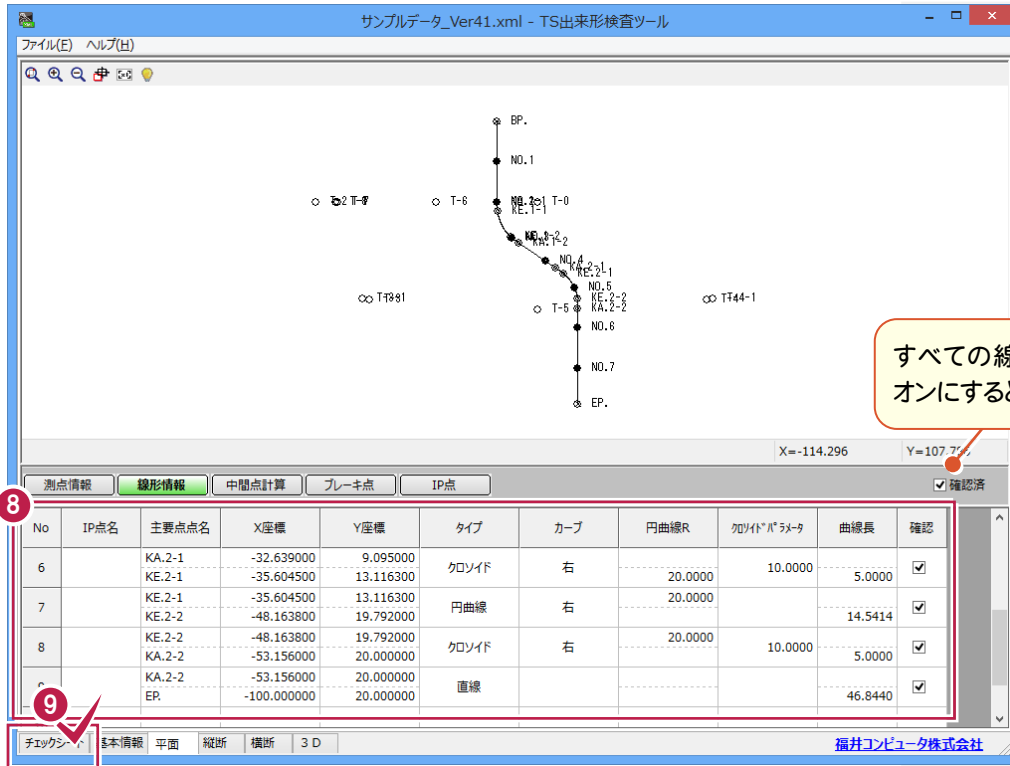
4 確認を終了したら[未確認]のチェックをクリックします。



- 5 [線形情報]をクリックします。
- 6 No.1の線形情報を確認します。
- 7 確認を終了したら[確認]のチェックをクリックして、オンにします。



5. 平面線形のチェック



8 同様に他の線形の情報の確認を行い、[確認]のチェックをクリックしてオンにします。

9 [チェックシート]をクリックします。



[平面線形]の確認をすべて終了すると、[確認済]になります。

6 縦断線形のチェック

縦断線形をチェックします。

6-1 縦断線形をチェックする

サンプルデータ_Ver41.xml - TS出来形検査ツール

ファイル(E) ヘルプ(H)

路線名: サンプルデータ ファイル比較

線形名: サンプルデータ

基本設計データのチェックシート

項目	対象	内 容	チェック結果
1) 基準点及び工事基準点	全点	- 監督職員の指示した基準点を使用しているか？ - 工事基準点の名称は正しいか？ - 座標は正しいか？	確認済
2) 平面線形	全延長	- 起終点の座標は正しいか？ - 変化点（線形主要点）の座標は正しいか？ - 曲線要素の種別・数値は正しいか？ - 各測点の座標は正しいか？	確認済
3) 縦断線形	全延長	- 線形起終点の測点、標高は正しいか？ - 縦断変化点の測点、標高は正しいか？ - 曲線要素は正しいか？	未確認

1 [3) 縦断線形]の[未確認]をクリックします。

サンプルデータ_Ver41.xml - TS出来形検査ツール

ファイル(E) ヘルプ(H)

確認が必要な項目は赤色で表示されますので、赤色で表示されているボタンをクリックして、確認を行います。

2 縦断情報

3

縦断名	番号	+ 距離	平面線形名	総延長	サンプルデータ
開始点	0	0.0000 [m]	初点追加距離	0.0000 [m]	
終了点	7	0.0000 [m]	終点追加距離	140.0000 [m]	
注記					

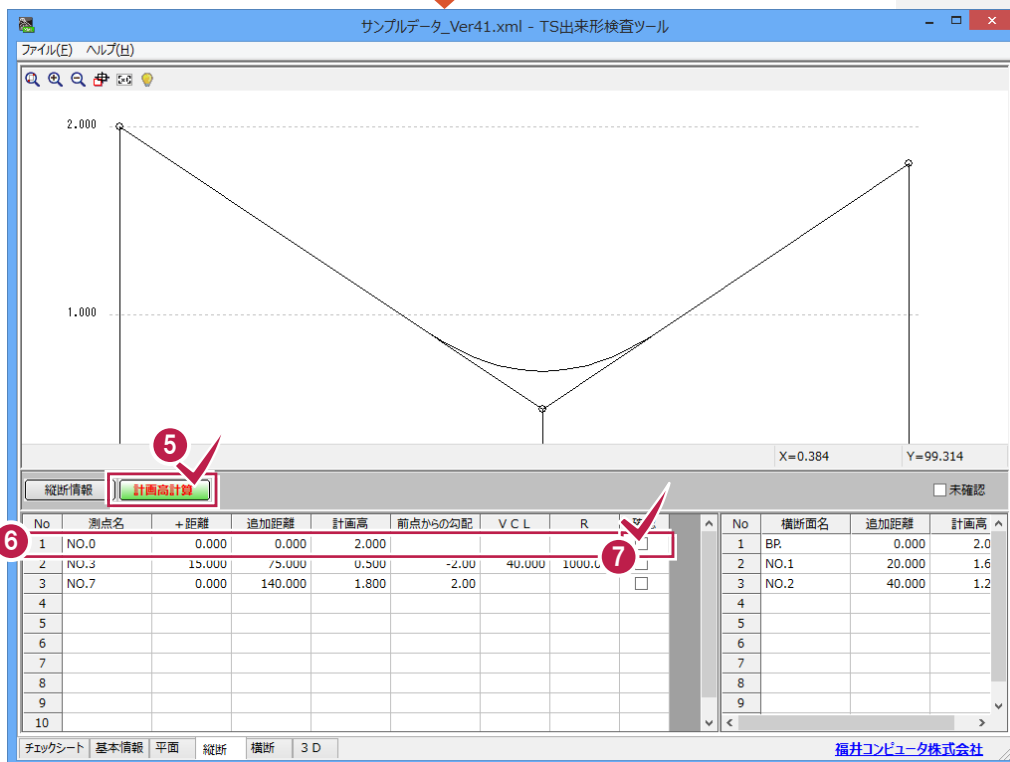
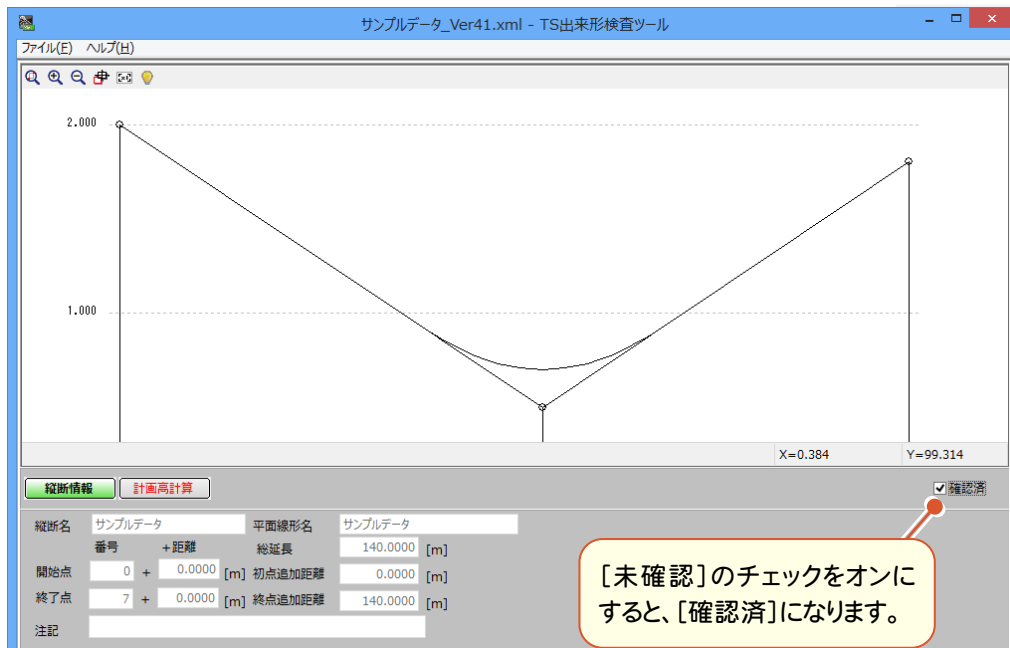
4 未確認

2 [縦断情報]をクリックします。

3 縦断情報を確認します。

4 確認を終了したら[未確認]のチェックをクリックします。

6. 縦断線形のチェック

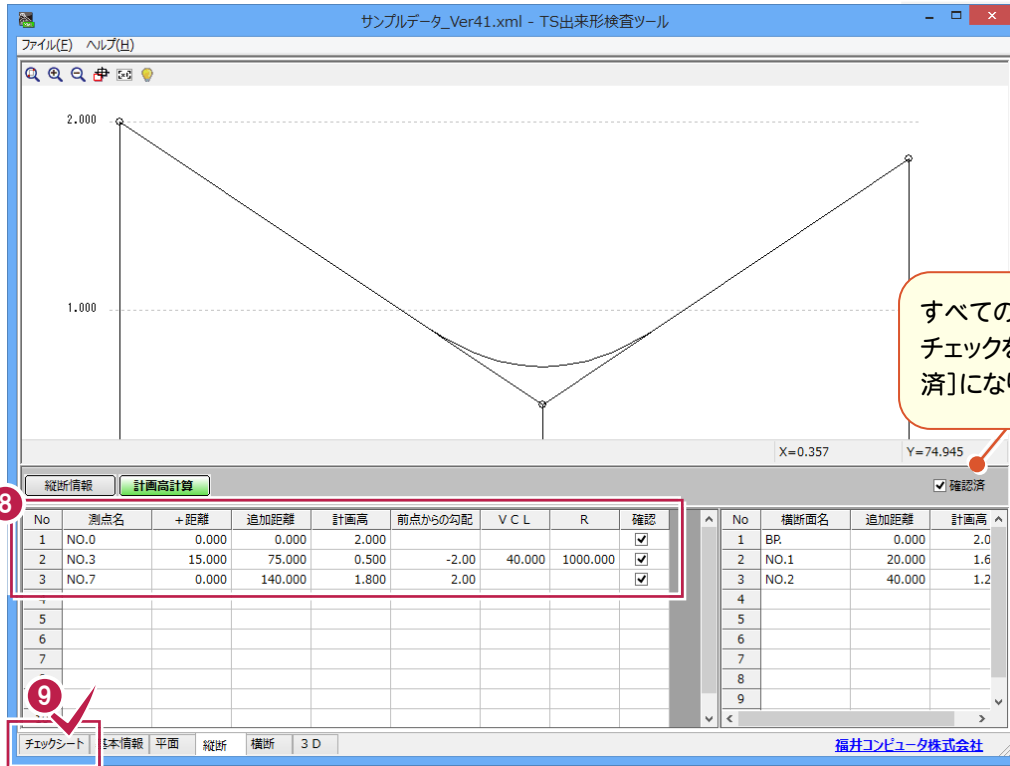


5 [計画高計算]をクリックします。

6 No.1の測点の計画高を確認します。

7 確認を終了したら[確認]のチェックをクリックして、オンにします。





8 同様に他の測点の計画高の確認を行い、[確認]のチェックをクリックしてオンにします。

9 [チェックシート]をクリックします。

項目	対象	内 容	チェック結果	参照閲覧
1) 基準点及び工事基準点	全点	- 監督職員の指示した基準点を使用しているか？ - 工事基準点の名称は正しいか？ - 座標は正しいか？	確認済	参照 閲覧
2) 平面線形	全延長	- 起終点の座標は正しいか？ - 変化点（線形主要点）の座標は正しいか？ - 曲線要素の種別・数値は正しいか？ - 各測点の座標は正しいか？	確認済	参照 閲覧
3) 縦断線形	全延長	- 線形起終点の測点、標高は正しいか？ - 縦断変化点の測点、標高は正しいか？ - 曲線要素は正しいか？	確認済	参照 閲覧
4) 出来形横断面形状	全延長	- 作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か？ - 基準高、幅、法長は正しいか？ - 出来形計測対象物の記号が正しく付与できているか？	未確認	参照 閲覧

[縦断線形]の確認をすべて終了すると、[確認済]になります。

7 出来形横断面形状のチェック

出来形横断面形状、工種、出来形管理箇所をチェックします。

7-1 出来形横断面形状をチェックする

サンプルデータ_Ver41.xml - TS出来形検査ツール

ファイル(E) ヘルプ(H)

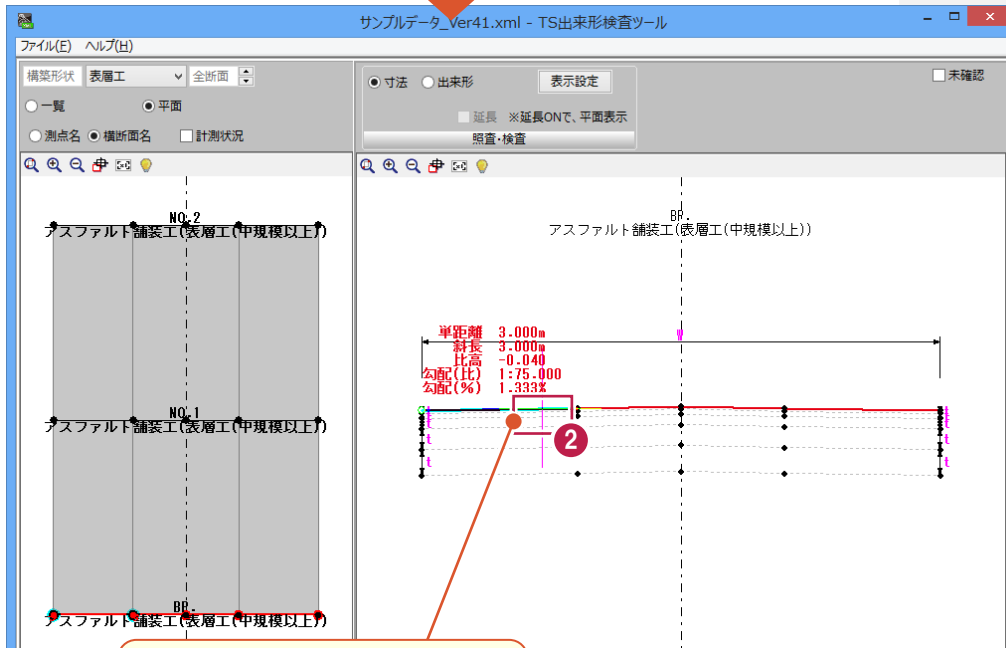
路線名: サンプルデータ
線形名: サンプルデータ

ファイル比較

基本設計データのチェックシート

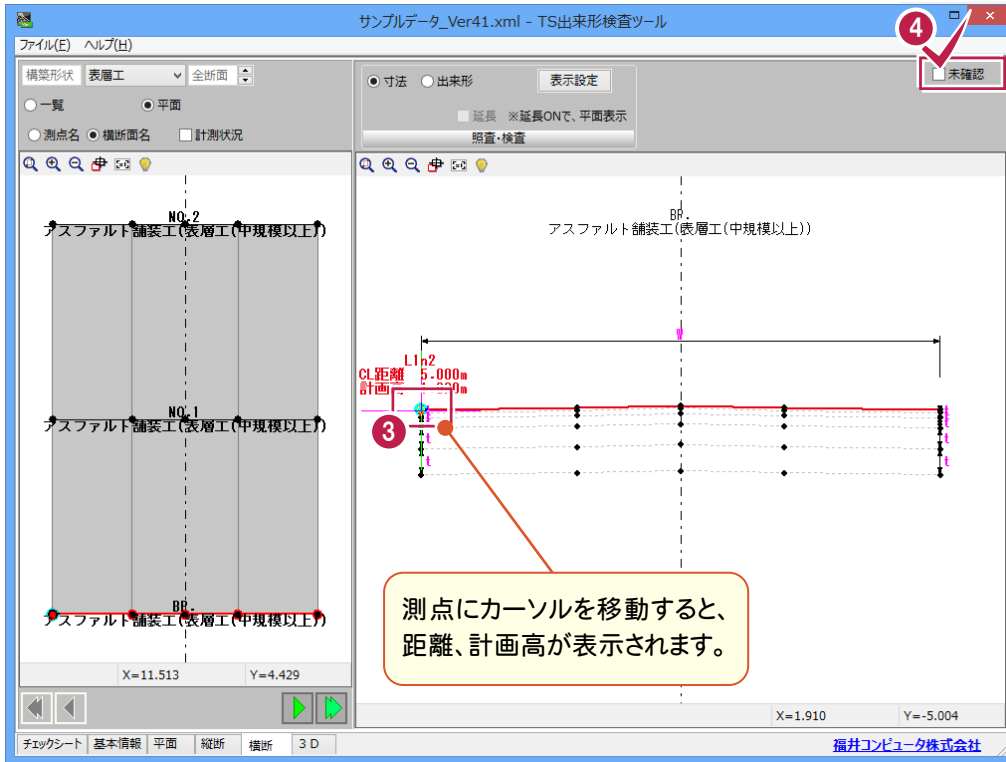
項目	対象	内 容	チェック 結果
1) 基準点及び 工事基準点	全点	- 監督職員の指示した基準点を使用しているか？ - 工事基準点の名称は正しいか？ - 座標は正しいか？	確認済
2) 平面線形	全延長	- 起終点の座標は正しいか？ - 変化点（線形主要点）の座標は正しいか？ - 曲線要素の種別・数値は正しいか？ - 各測点の座標は正しいか？	確認済
3) 縦断線形	全延長	- 線形起終点の測点、標高は正しいか？ - 縦断変化点の測点、標高は正しいか？ - 曲線要素は正しいか？	確認済
4) 出来形 横断面形状	全延長	- 作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か？ - 基準高、幅、法長は正しいか？ - 出来形計測対象点の記号が正しく付与できているか？	未確認

1 [4) 出来形横断面形状]の
[未確認]をクリックします。



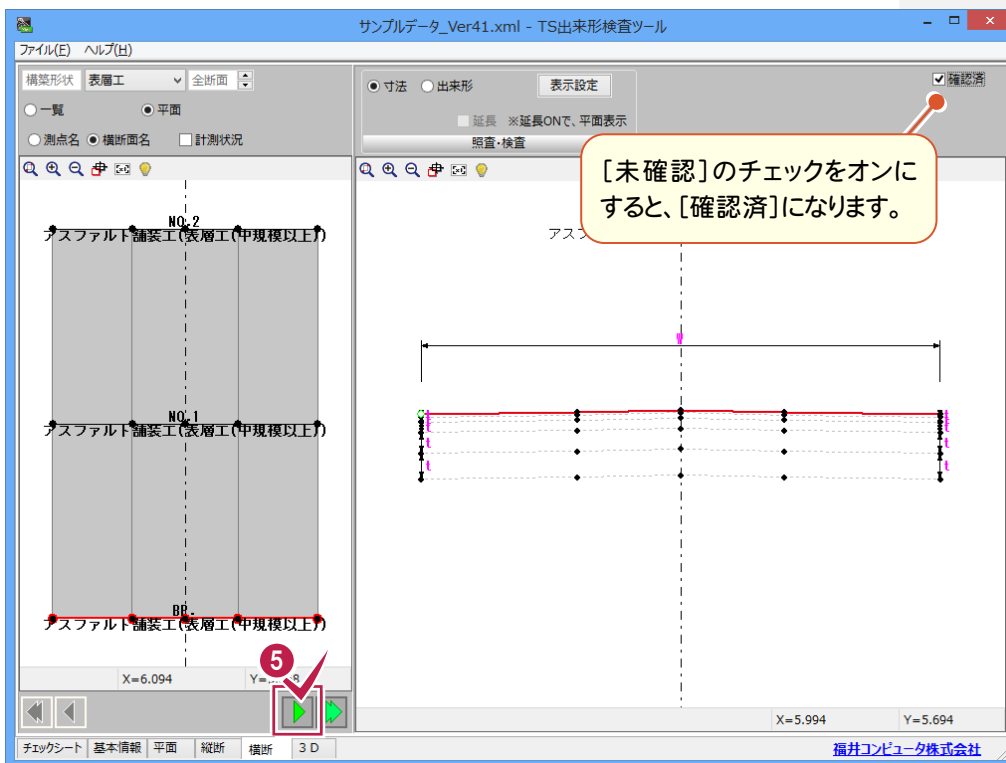
横断面形状にカーソルを移動すると、
横断面形状の単距離、斜長、比高、
勾配が表示されます。

2 横断面形状にカーソルを移動して
横断面形状の単距離、斜長、比高、
勾配を確認します。



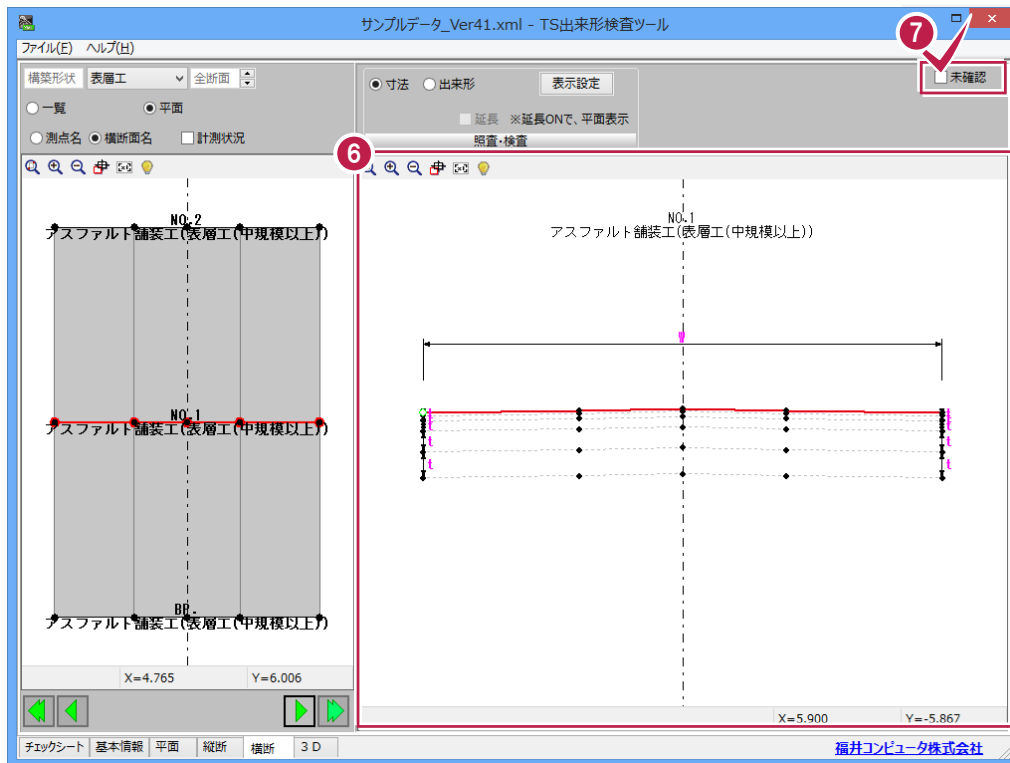
3 測点にカーソルを移動して、距離、計画高を確認します。

4 確認を終了したら、[未確認]のチェックをクリックします。



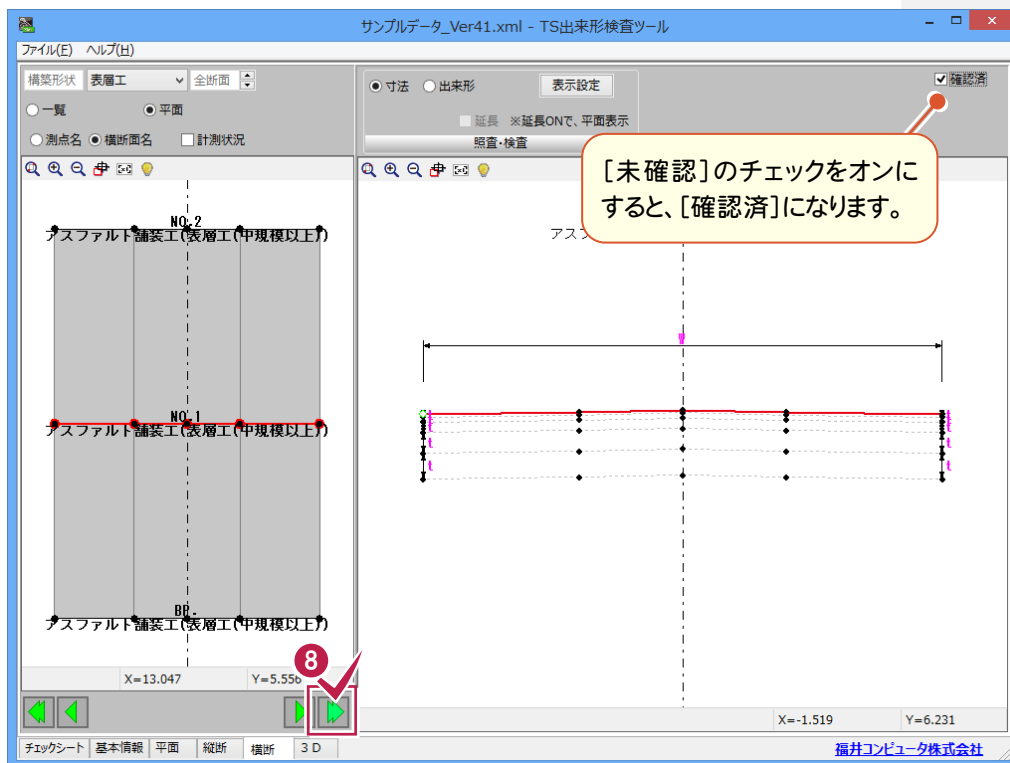
5 1つ目の断面の確認を終了したら、[次の断面]のボタンをクリックします。

7. 出来形横断面形状のチェック

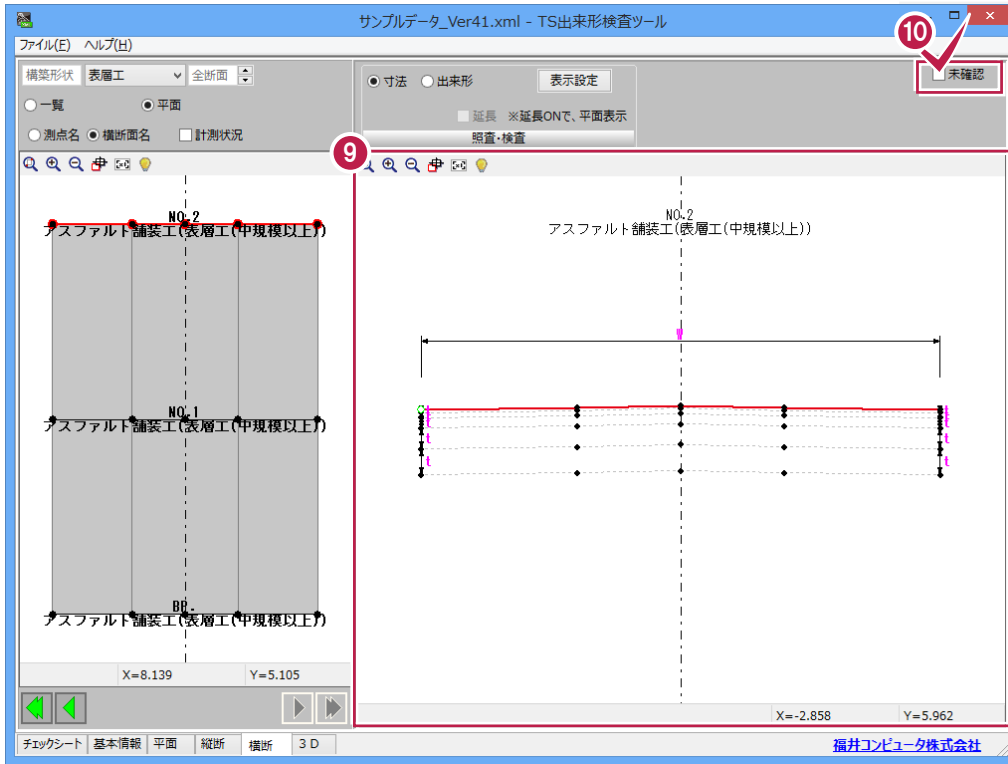


6 ②③の操作を行い、2つ目の断面の横断面形状、測点の情報を確認します。

7 確認を終了したら、[未確認]のチェックをクリックします。

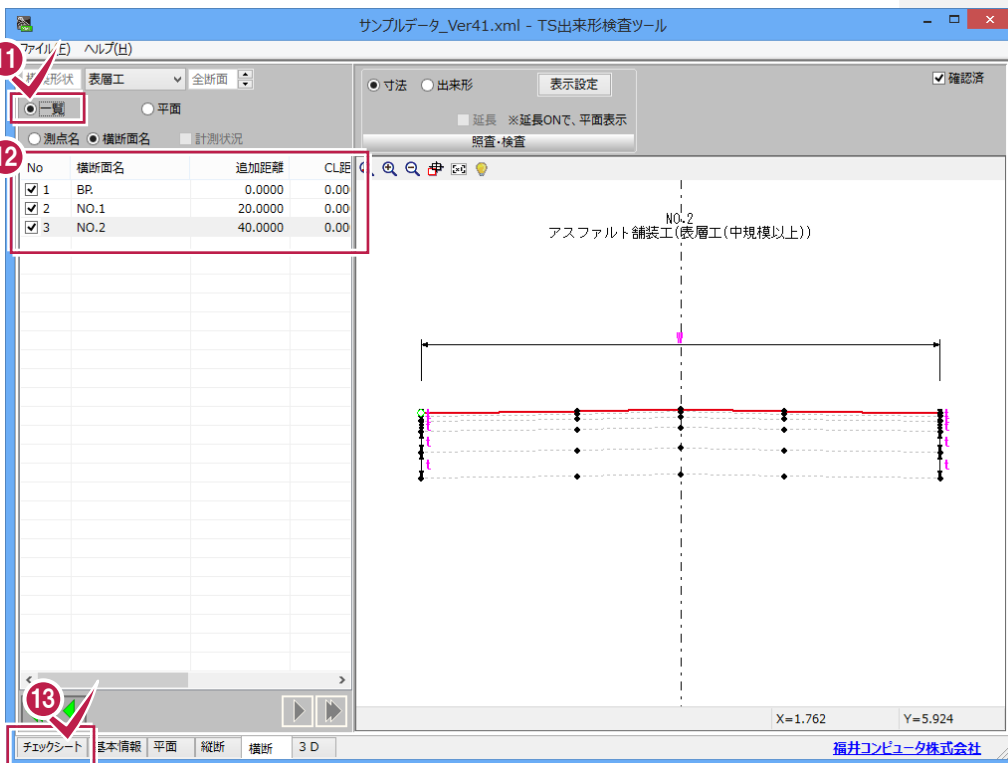


8 2つ目の断面の確認を終了したら、[次の断面]のボタンをクリックします。



⑨ ②③の操作を行い、3つ目の断面の横断面形状、測点の情報を確認します。

⑩ 確認を終了したら、[未確認]のチェックをクリックします。



⑪ [一覧]をクリックします。

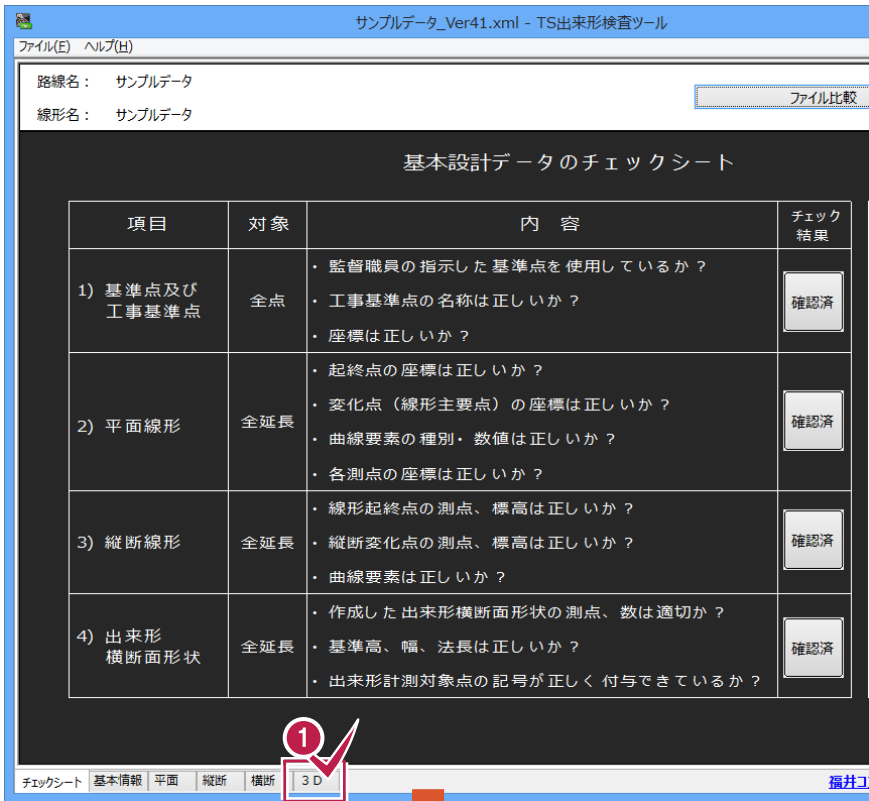
⑫ すべての断面のチェックがオンになっていることを確認します。

⑬ [チェックシート]をクリックします。

8 3D形状でのデータチェック

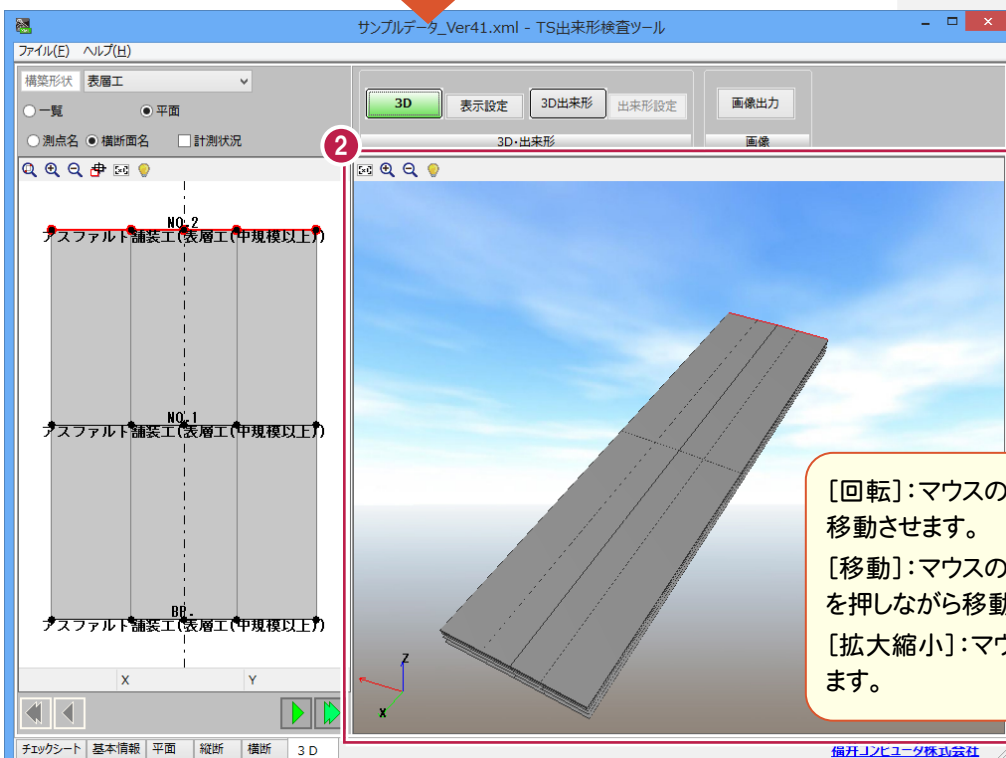
3D形状で、データの状態をチェックします。

8-1 3D形状でデータの状態をチェックする



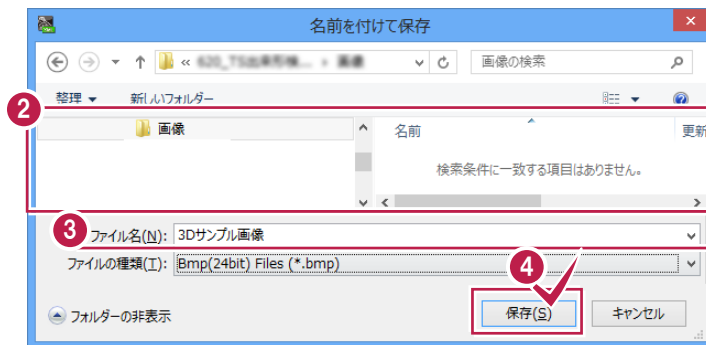
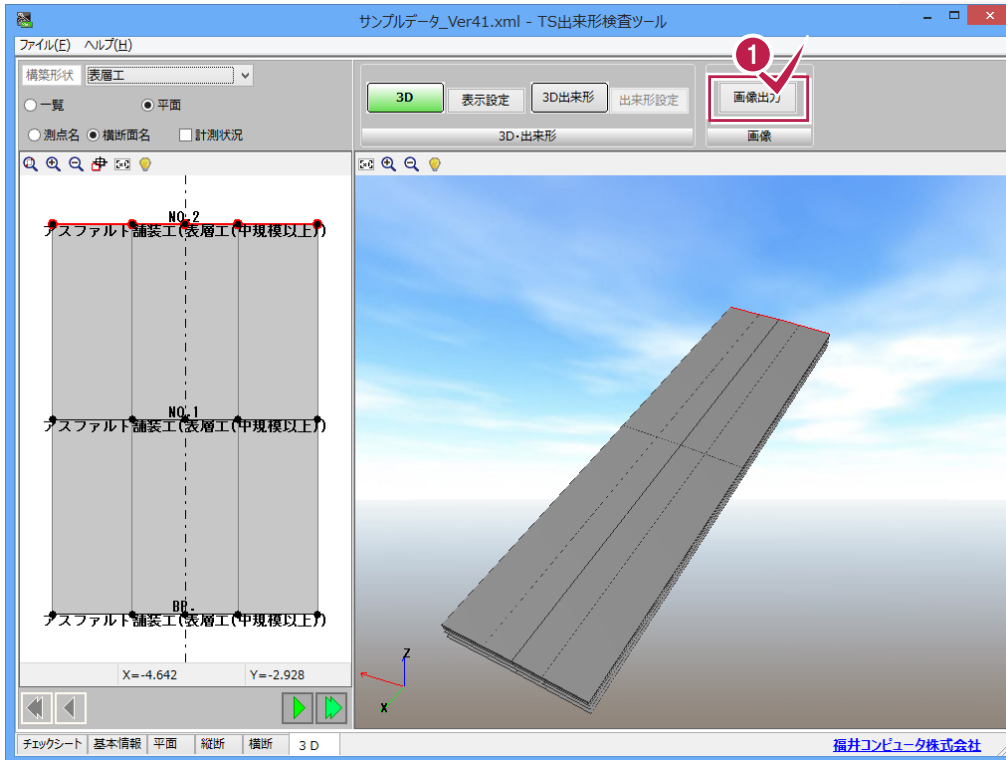
1 [3D]をクリックします。

2 3D形状で、回転、移動、拡大縮小して、データの状態をチェックします。



8-2 3Dの画像を出力する

3Dの画像を出力します。



1 [画像出力]をクリックします。

2 ファイルの保存場所を指定します。

3 ファイル名を入力します。

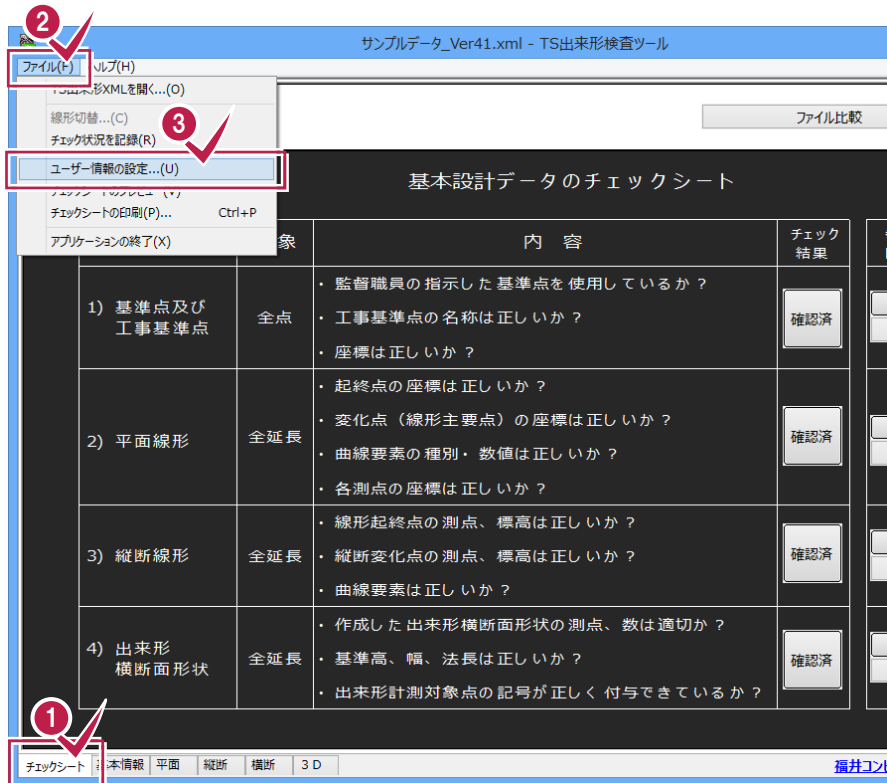
4 [保存]をクリックします。

9 チェックシートの印刷

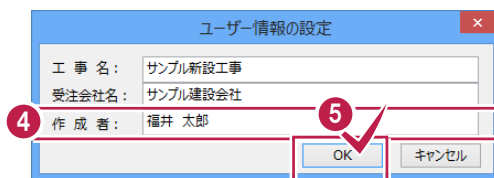
発注者へ提出するチェックシートを印刷します。

9-1 ユーザー情報を設定する

ユーザー情報を設定します。



- 1 [チェックシート]をクリックします。
- 2 [ファイル]をクリックします。
- 3 [ユーザー情報の設定]をクリックします。



- 4 ここでは、作者名を入力します。
- 5 [OK]をクリックします。

9-2

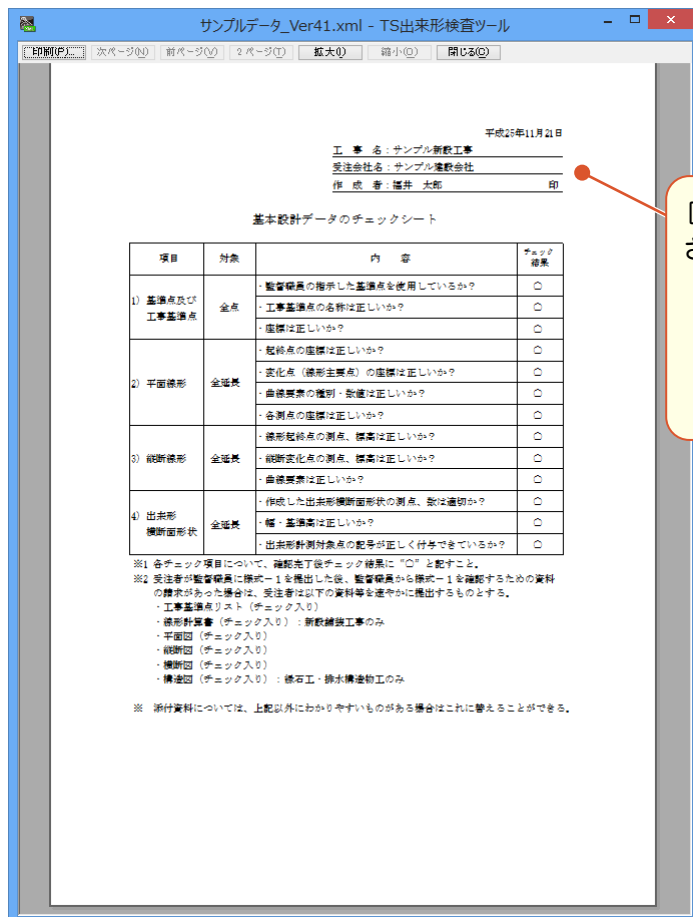
チェックシートをプレビューする

チェックシートをプレビューして確認します。



1 [ファイル]をクリックします。

2 [チェックシートのプレビュー]をクリックします。



[ユーザー情報の設定]で設定した内容が表示されます。

工事名: サンプル新設工事

受注会社名: サンプル建設会社

作成者: 福井 太郎

印

9-3

チェックシートを印刷する

チェックシートを印刷します。

1 [印刷]をクリックします。

サンプルデータ_Ver41.xml - TS出来形検査ツール

次ページ(N) 前ページ(B) 2ページ(T) 拡大(O) 縮小(Q) 閉じる(C)

平成25年11月21日

工 事 名: サンプル新設工事
受注会社名: サンプル建設会社
作 成 者: 堀井 太郎 印

基本設計データのチェックシート

項目	対象	内 容	チェック 結果
1) 基準点及び 工事基準点	全点	・ 監督職員の指示した基準点を使用しているか? ・ 工事基準点の名称は正しいか? ・ 座標は正しいか?	☐ ☐ ☐
2) 平面線形	全延長	・ 起終点の座標は正しいか? ・ 変換点 (線形主要点) の座標は正しいか? ・ 曲線要素の種別・数値は正しいか? ・ 各測点の座標は正しいか?	☐ ☐ ☐ ☐
3) 縦断線形	全延長	・ 線形起終点の測点・標高は正しいか? ・ 縦断変換点の測点・標高は正しいか? ・ 曲線要素は正しいか?	☐ ☐ ☐
4) 出来形 横断面形状	全延長	・ 作成した出来形横断面形状の測点・数は適切か? ・ 幅・基準高は正しいか? ・ 出来形計測対象点の記号が正しく付与されているか?	☐ ☐ ☐

※1 各チェック項目について、確認完了後チェック結果に「○」と記すこと。
※2 受注者が監督職員に様式-1を提出した後、監督職員から様式-1を確認するための資料
の請求があった場合は、受注者は以下の資料等を速やかに提出するものとする。
・ 工事基準点リスト (チェック入り)
・ 線形計算書 (チェック入り) : 新設補修工事のみ
・ 平面図 (チェック入り)
・ 縦断面図 (チェック入り)
・ 横断面図 (チェック入り)
・ 構造図 (チェック入り) : 橋石工・排水構造物工のみ

※ 添付資料については、上記以外にわかりやすいものがある場合はこれに替えることができる。



2 プリンターなどを設定します。

3 [OK]をクリックします。

印刷

プリンター: DocuPrint 255 [プロパティ(P)...]

状態: 準備完了
種類: Pn DocuPrint 255 (Type2)
場所: 172.26.4.42
コメント: ☐ ファイルへ出力(L)

印刷範囲
☒ すべて(A)
☐ ページ指定(G) 1 ページから(E) 1 ページまで(I)
☐ 選択した部分(S)

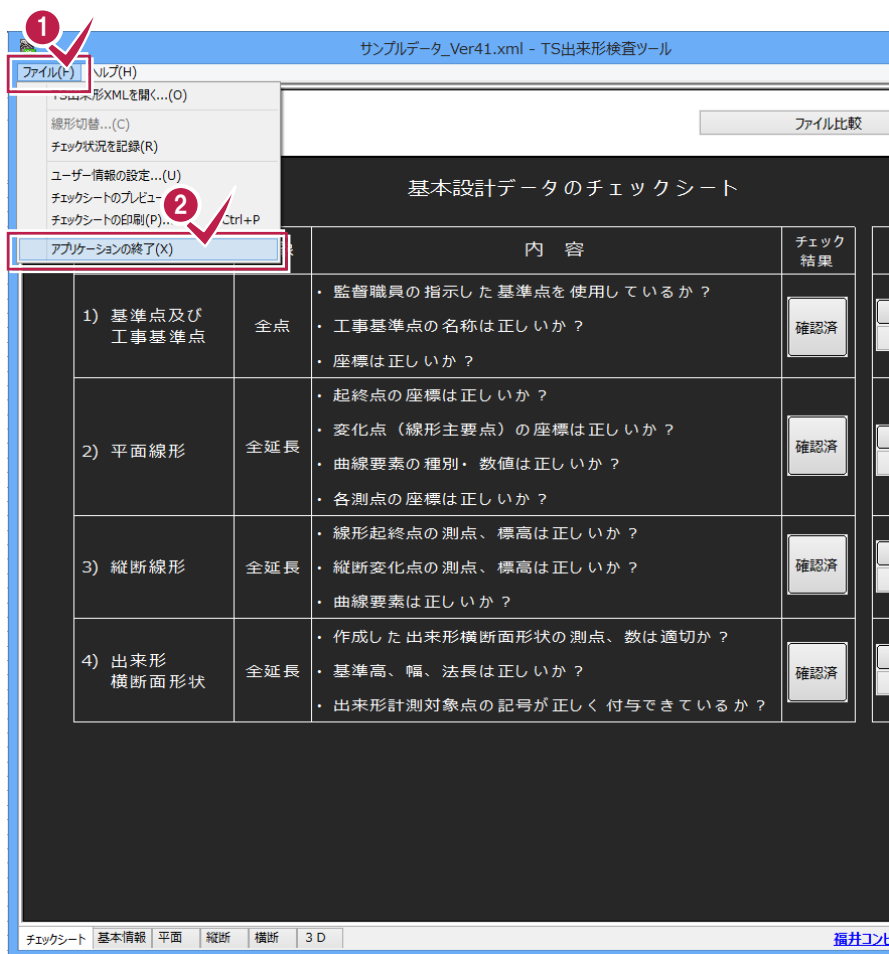
印刷部数
部数(C): 1

ヘルプ(H) OK キャンセル

9-4

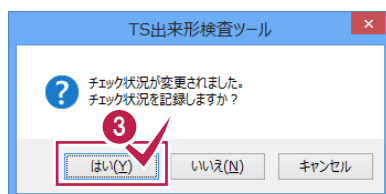
TS出来形検査ツールを終了する

TS出来形検査ツールを終了します。チェック状況を記録しておくこともできます。



1 [ファイル]をクリックします。

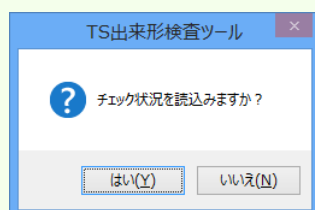
2 [アプリケーションの終了]をクリックします。



3 チェック状況を記録するときは[はい]をクリックします。



チェック状況を記録しておくと、再開時に以下のメッセージが表示されます。
[はい]をクリックすると、前回の続きからチェックすることができます。



計測データの確認



計測データを確認してみよう。

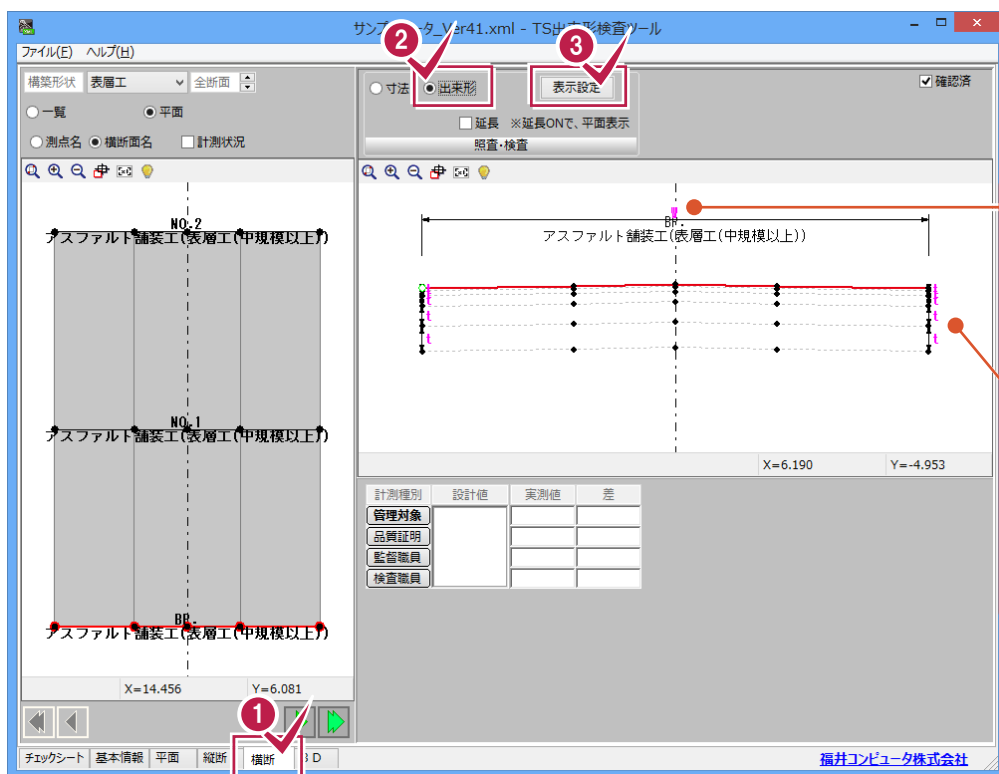
1 計測データの確認

2 3D形状でのデータチェック

1 計測データの確認

出来形表で、各計測データを種別ごとに確認します。

1-1 出来形表で、各計測データを種別ごとに確認する

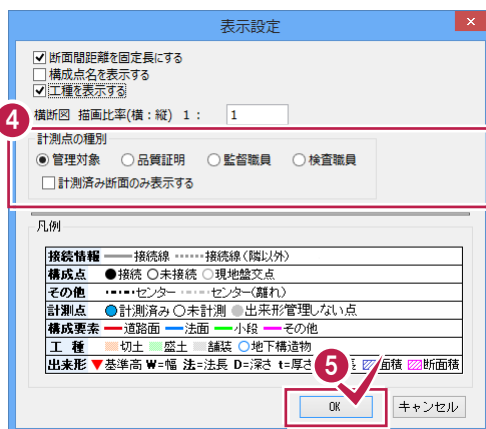
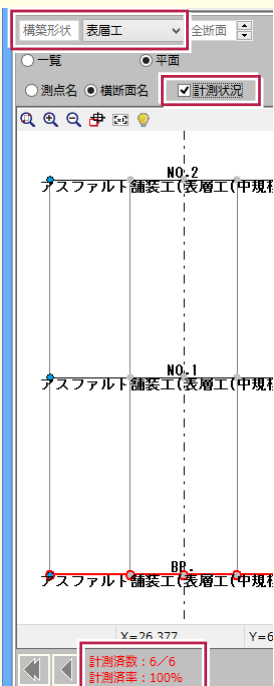


計測されている場合は、マゼンダ色で表示されます。

装工(表層工(中規模以上))



[計測状況]のチェックをオンにすると、指定した構築形状の計測状況が表示されます。



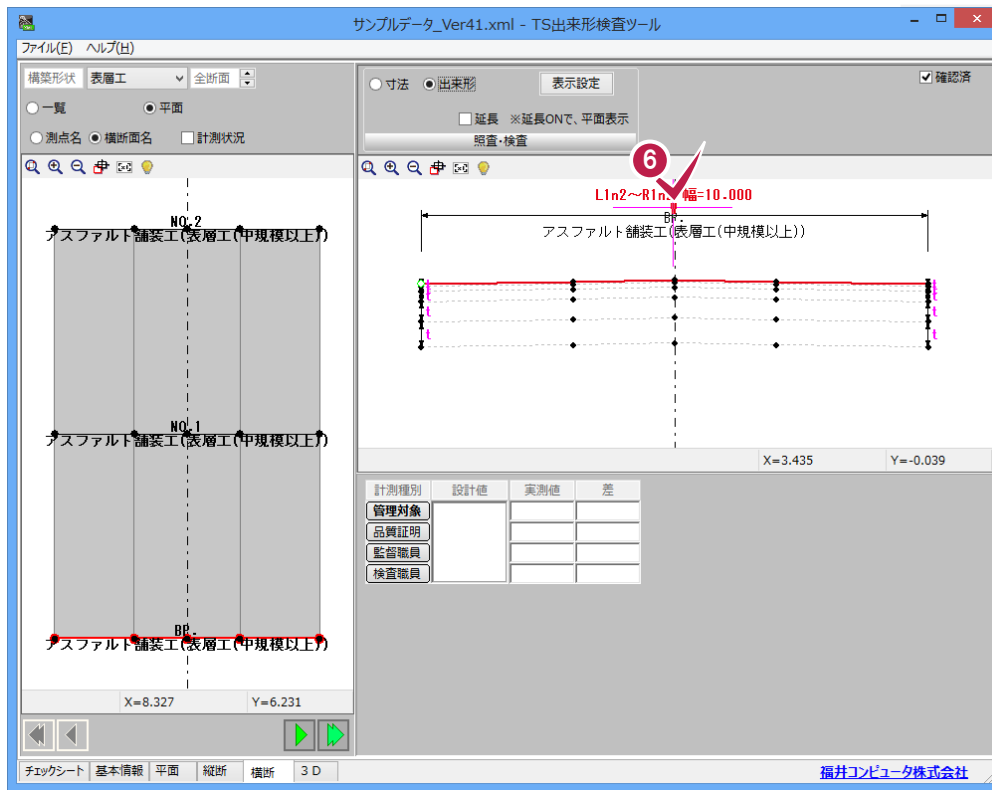
1 [横断]をクリックします。

2 [出来形]をクリックします。

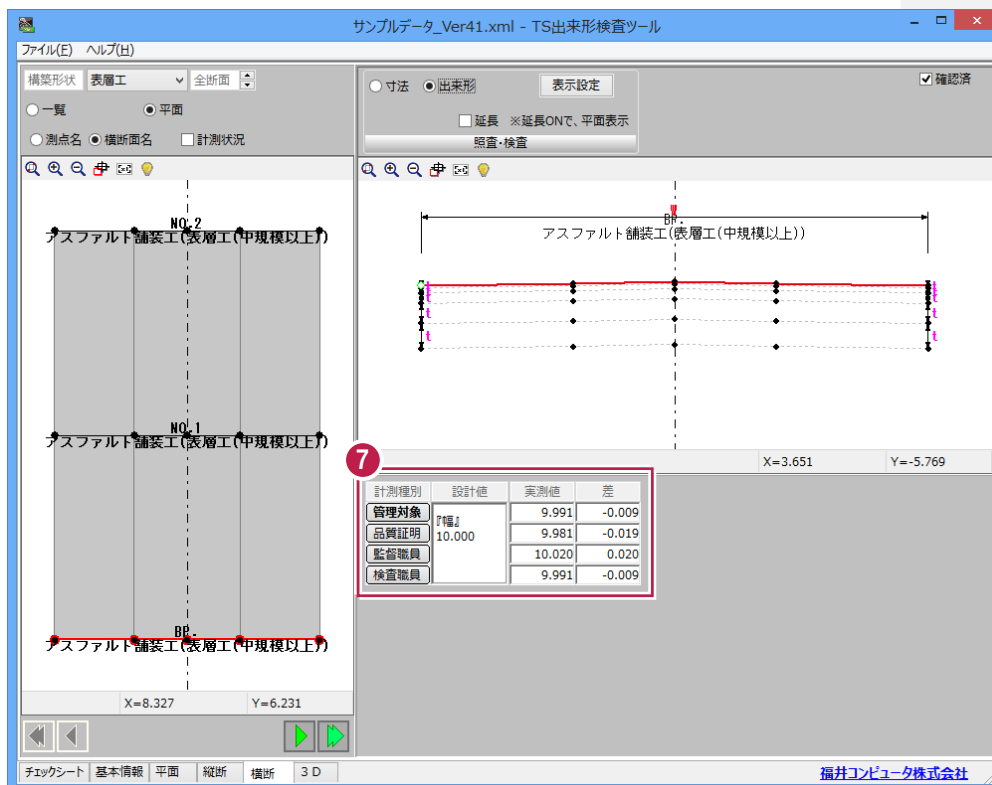
3 [表示設定]をクリックします。

4 計測点の測定者の表示を設定します。
計測点の種別で設定した断面のみ表示するときは、[計測済みの断面のみ表示する]のチェックをオンにします。

5 [OK]をクリックします。

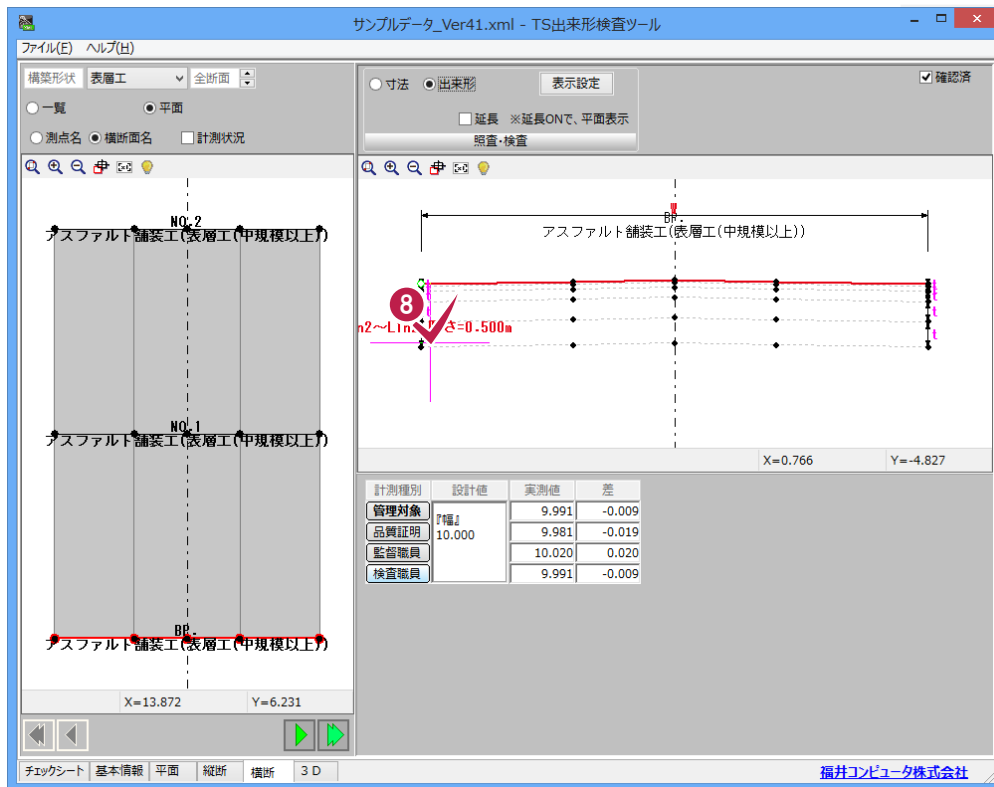


6 計測データ(ここではw)をクリックします。

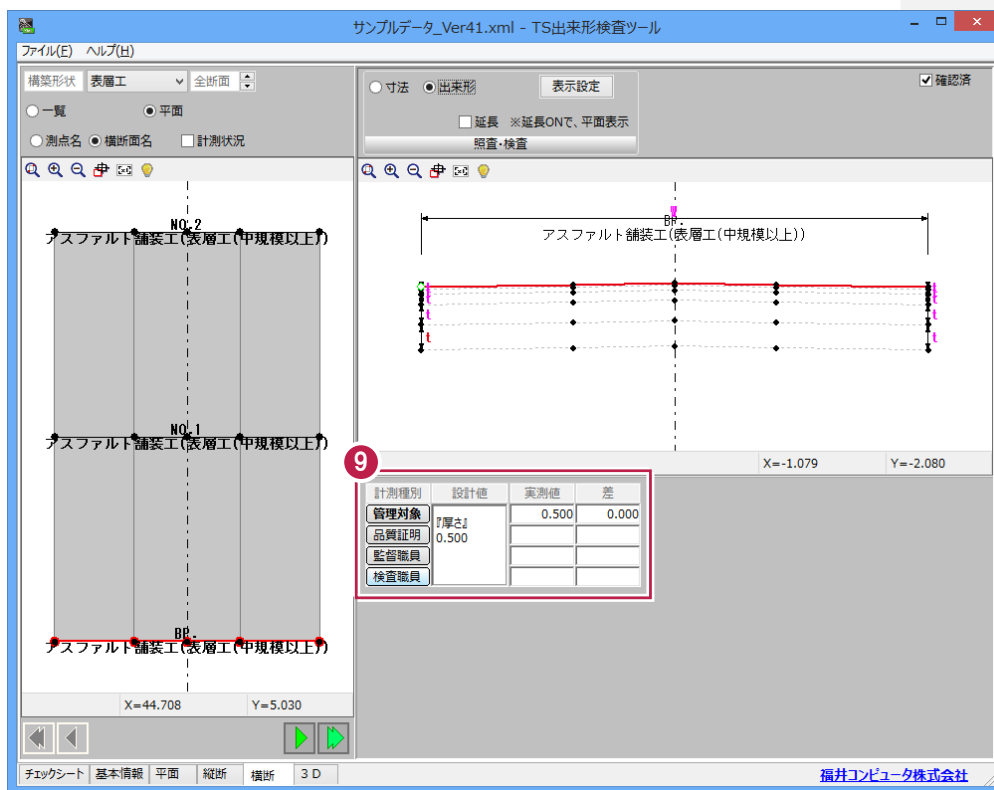


7 計測データの種別ごとの設計値、実測値、差を確認します。

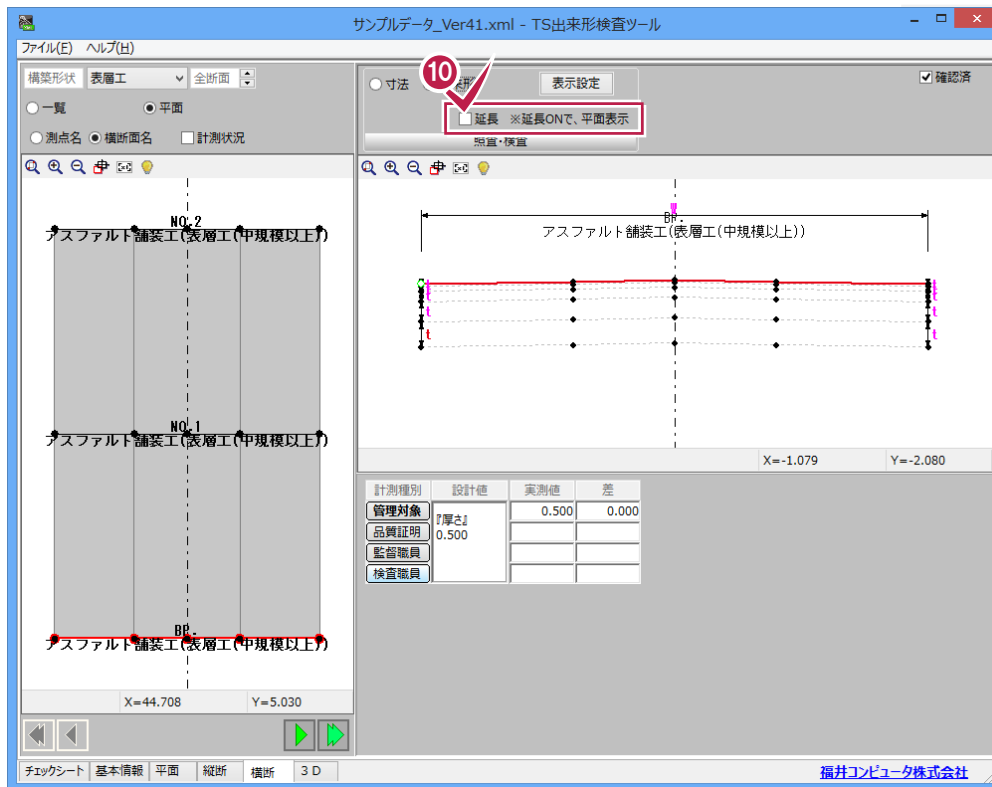
1. 計測データの確認



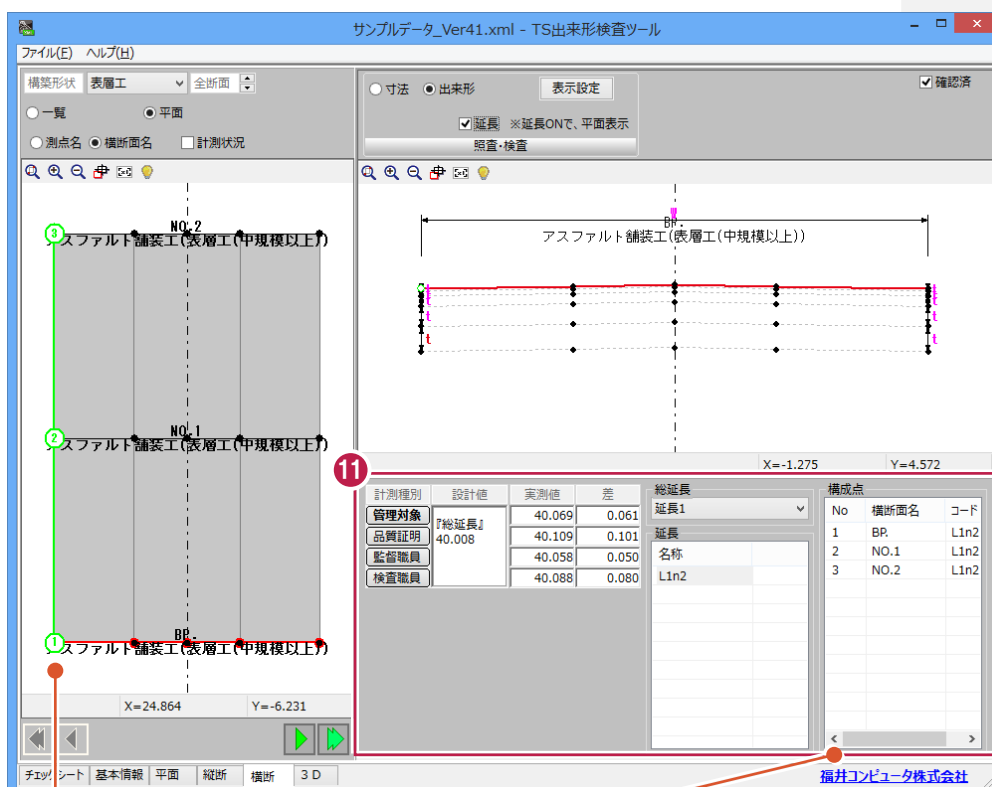
8 別の計測データ(ここではt)をクリックします。



9 計測データの種別ごとの設計値、実測値、差を確認します。



10 [延長]のチェックをクリックして、オンにします。



平面表示に構成点のNoが表示されます。

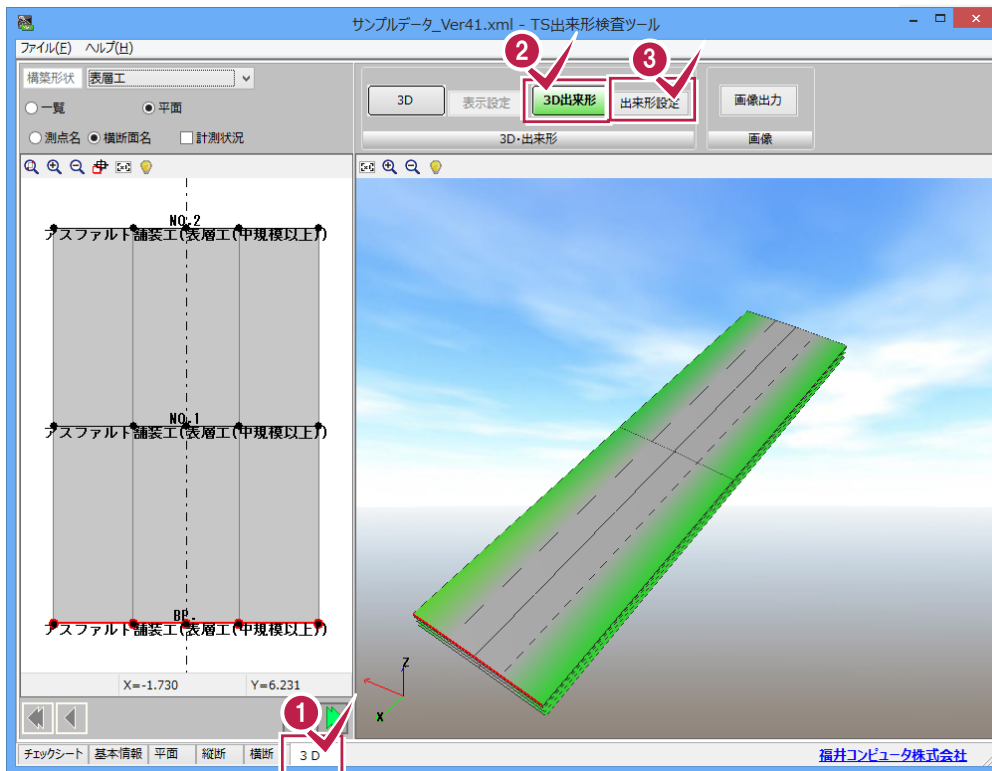
11 延長の種別ごとの設計値、実測値、差、名称、構成点などを確認します。

12 断面を切り替えて、すべての断面の計測データのチェックを行います。

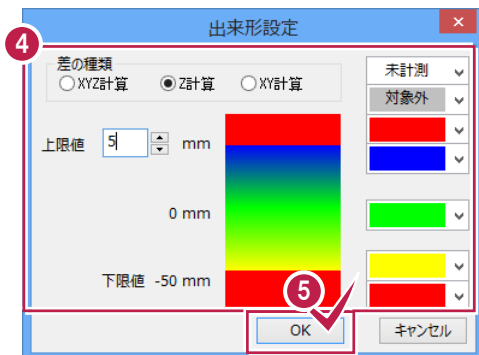
2 3D形状でのデータチェック

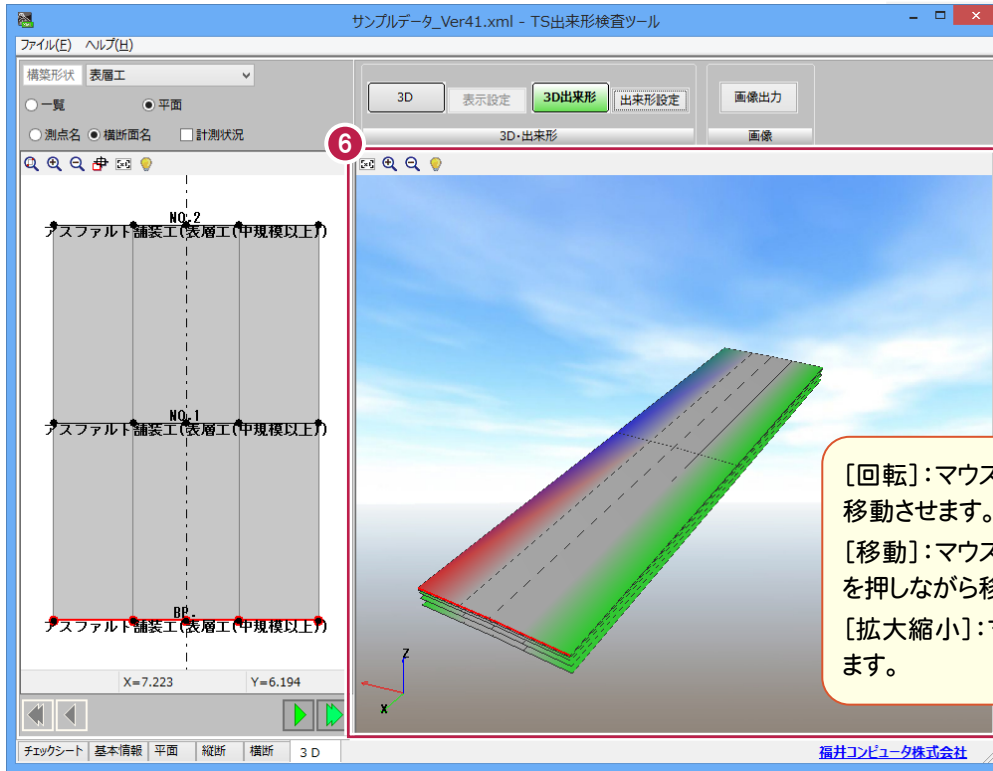
各構成点の設計と実測の差をグラデーションで表示します。

2-1 3D形状でデータの状態をチェックする



- 1 [3D]をクリックします。
- 2 [3D出来形]をクリックします。
- 3 [出来形設定]をクリックします。
- 4 出来形の表示について設定します。
ここでは上限値を変更します。
- 5 [OK]をクリックします。



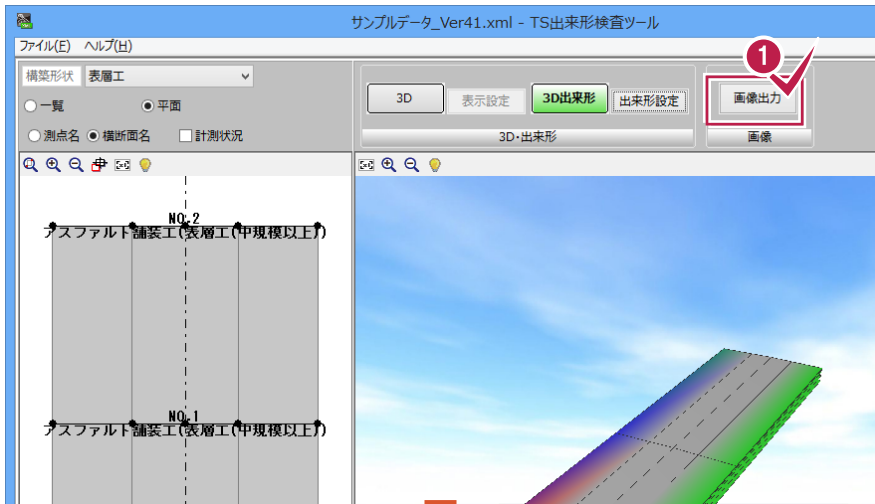


[回転]: マウスの左ボタンを押しながら移動させます。
 [移動]: マウスの中ボタンまたは右ボタンを押しながら移動させます。
 [拡大縮小]: マウスホイールを回転させます。

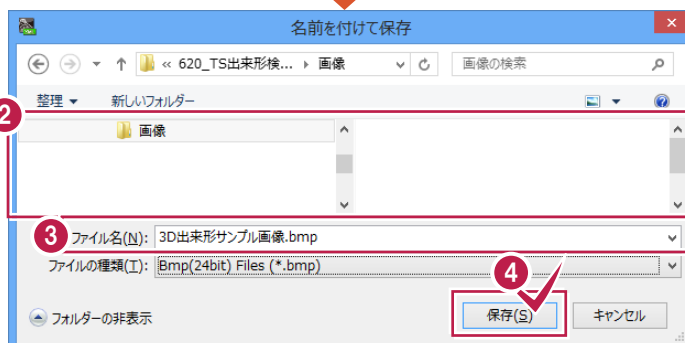
- 6 3D形状で、回転、移動、拡大縮小して、データの状態をチェックします。

2-2 3Dの画像を出力する

3Dの画像を出力します。



- 1 [画像出力]をクリックします。



- 2 ファイルの保存場所を指定します。
 3 ファイル名を入力します。
 4 [保存]をクリックします。